

総合政策部行政経営課

平成26年度(平成25年度実施分)
指定管理者管理運営状況評価表

立川市公の施設指定管理者評価委員会資料

－ 都市整備部 －

12. 自転車等駐車場（第1ブロック）……………54
【交通対策課（日本環境マネジメント株式会社）】
13. 自転車等駐車場（第2ブロック）……………57
【交通対策課（都市環境整備株式会社）】
14. 自転車等駐車場（第3ブロック）……………60
【交通対策課（社団法人日本駐車場工学会）】
15. 自転車等駐車場（西武立川）……………63
【交通対策課（都市環境整備株式会社）】
16. 駐車場……………66
【交通対策課（タイムズ24株式会社）】

－ 教育部 －

17. 八ヶ岳山荘……………70
【生涯学習推進センター（株式会社レストラン・ピガール）】
18. 学習等供用施設（滝ノ上会館ほか10施設）……………74
【生涯学習推進センター（各管理運営委員会）】
19. 柴崎市民体育館……………107
【スポーツ振興課（シンコースポーツ・山武共同事業体）】
20. 図書館……………111
【幸・西砂・高松・錦・若葉図書館（株式会社図書館流通センター）】

平成25年度実施分 指定管理者運営状況 総括表

施設名	(1)施設の設置目的達成に関する取り組み	(2)業務の履行状況	(3)サービスの質に関する事項	(4)施設・設備の維持管理状況	(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項	(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項	(7)地域貢献に関する事項	(8)コンプライアンスに関する事項	(9)その他特記事項・追加評価項目	(10)立川市のコスト削減状況	総合評価
市民会館	A	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A
子ども未来センター ※1	A/A/A/-	A/A/A/A	A/A/A/A	A/A/-/-	A/A/A/A	A/A/A/A	A/A/A/-	A/A/A/A	A/A/-/-	—	A
幸児童館	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
高松児童館	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
若葉児童館・若葉学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/-	A
西砂児童館・松中学童保育所 ※2	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/A	A/-	A
斎場	A	A	A	A	A	A	—	A	—	A	A
総合福祉センター	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A
柏地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A
羽衣地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
上砂地域福祉サービスセンター	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A
自転車等駐車場(第1ブロック)	A	A	A	A	A	B	A	A	—	A	A
自転車等駐車場(第2ブロック)	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A
自転車等駐車場(第3ブロック)	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
自転車等駐車場(西武立川)	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
駐車場	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A
八ヶ岳山荘	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
立川市滝ノ上会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
立川市こんびら橋会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
立川市高松会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
立川市若葉会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
立川市こぶし会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
立川市羽衣中央会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
立川市天王橋会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
立川市柴崎会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
立川市さかえ会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
立川市西砂会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
立川市上砂会館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	—	A
柴崎市民体育館	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
幸図書館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A
西砂図書館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A
高松図書館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A
錦図書館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A
若葉図書館	A	A	A	A	A	A	A	A	—	A	A

※1 評価欄は、左から 施設全般の管理運営に関する業務及び自主事業／子育て支援業務／市民活動支援業務／文化芸術活動支援業務 を表す。

※2 評価欄は、左から 児童館運営管理／学童保育所運営管理 を表す。

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
たましんRISURUホール(立川市市民会館)	公募	産業文化部 地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成25年11月30日～平成36年3月31日(10年4か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	市民の福祉の増進と文化の向上を図るため、公平かつ公正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	業務マニュアルの作成・更新を行った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	施設予約システムを活用し、利用者に公平公正に対応している。	A		
事業の継続性の担保	マナー研修、コンプライアンス研修及び舞台の安全についての研修を行った。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:108日(1月から開館) 開館時間:9:00~22:00 職員配置:22人(正社員・パート) 統括責任者1人 舞台技術7人 受付業務11人 維持管理3人 臨時職員賃金:時給900円以上 (各社規定による)	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 市民文化の向上とコミュニティ活動の振興に寄与する事業を行った。 事業収支は、予算見積に基づき、適正に執行された。 リニューアルオープンに当たっては、大規模な告知を行い、周知が大きく進んだ。また、受付窓口の営業時間延長により、利用者の利便性が向上した。	A
利用状況	【施設別利用者数】 延べ利用者数:88,481人(内訳) 大ホール:51,430人 小ホール:9,941人 展示室・サブホール・ギャラリー・会議室:16,526人 各窓口:5,538人 市民ロビー等その他:5,046人	A		
運営企画	・白鳥座コンサート(オープニング記念行事) ・月猫えほん音楽会(えほんの読み聞かせコンサート) 文化芸術を楽しむ機会を提供し、地域のにぎわいを創出するため、指定管理業務仕様書に基づき実施された。	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:66,148,200円、支出:66,148,200円 人件費比率:54.60% 利用者あたり管理コスト:748円 利用者あたり市負担コスト:748円	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	公共文化施設賠償責任保険、公共文化施設災害補償保険、公共施設貸館対応興行中止保険 最大 身体5億円、請負賠償10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	受付案内業務、舞台設備保守点検業務、清掃業務、維持管理業務(受電設備・消防用設備・エレベーター保守点検・電話交換設備・一般ごみ収集作業など)	A		
新たな取り組みの状況	S評価・・・立川ビジョン、アレアビジョン、マイテレビにてCM放映(4か月間、8時~22時の間1時間に4回)、立川バス全車でのチラシ配布によるリニューアルオープンの告知 A評価・・・窓口営業時間の延長、市民会館前の広場にてイルミネーションを実施	S×1 A×2		
提案の実施状況	各種舞台公演の自主事業、舞台設備専門の技術者の配置、危機管理マニュアルや緊急連絡網の整備、開館スケジュールやリニューアルの周知、文化芸術相談窓口、会議室等利用の働きかけ、ワンストップサービスの実施、月間催事予定の配布	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	マナー研修等を実施し、実践している。 市民アンケートの結果では、回答者のうち90%以上が満足・おおむね満足と回答。	A	良好な接客に努めている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。 主管課及び地域文化振興財団との定期的な連絡調整会議を実施し、連携に努めている。	A
マニュアルの整備	ビジネスマナー・危機管理・受付・施設保全マニュアルを整備し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	安全教育、コンプライアンス研修等を随時実施	A		
所管部署との連携・連絡	月1回第3水曜日に連絡調整会議を実施。 所管部署との緊急連絡網の整備。	A		
利用者アンケート等の実施	実施されたが、平成25年度中の公表には至らなかった。	A×1 B×1		
広報・PR等の利用情報の提供	施設利用のリーフレットを作成・配布。 施設HPにて公表。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・事業報告書を提出している。	A		
公平・公正利用の確保	施設利用システムを活用し、公平・公正に実施している。	A		
業務の点検	随時実施している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 有人管理については、早期に規定の人員配置へ復帰している。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設保全マニュアルを整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	毎日巡回点検し、適切に管理されているが、指定管理開始直後の1か月弱の間、有人警備が十分に行われていない時期があった。	A×2 B×1		
小規模修繕	インカムスピーカーステーション修理 ヘッドセット修理 錠前交換	A		
備品管理	備品台帳を作成している。備品は随時管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	利用申し込みの管理の徹底等、個人情報の適正取り扱いを指導している。	A	適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報に記載されている書類等は金庫等に保管している。	A		
再委託の禁止	市へ未報告で業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	コンプライアンス研修の中で個人情報についての研修を行った。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	(B評価となった項目) 大ホール座席の汚れ(使用不可)。 保守点検中にエレベーターが故障(当日中に復旧できず、翌日の公演に支障をきたした)	A×3 B×2	苦情に対する対応は、適切になされている。 危険予知については、特に注意をしている。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	危険予知活動表を作成し、未然の事故防止に努めている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	雪の重量の負荷による桜の木の倒木			
事故防止対策の取り組み状況	危険予知活動表を活用し、事故防止対策に取り組んでいる。 市や子ども未来センター、地元警察と情報共有して不審者対応を行った。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	館内で市民のイベントの告知、敷地内での交通安全運動などを実施。	A	市民団体等と連携しながら、地域貢献に取り組んだ。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
円滑な業務引継共催公演の誘致	・指定管理の始まる2か月前から、会館近隣に仮事務所を設け、市や地域文化振興財団と綿密に引継ぎを行える体制を構築して実施した。 ・会館の利用者数を増やす施策として、指定管理者として共催公演の誘致を実施。	A	円滑な業務引継につながった。 上質な文化芸術を廉価で提供することに努めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	実質3カ月の運営であり、経年ベースの比較は困難である。			—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
地域文化振興財団から合人社計画研究所グループに指定管理者が変わった初年度となる。運営に支障がないよう、長年の具体的な知識、経験等含めて引継ぎが行われた。それ以後も定例の調整会議等により、財団のアドバイスを受けながら、適正かつ安全な市民会館の管理運営を行っている。また、会館内での事業充実に加え、地域での文化芸術を楽しむ機会づくりや、主に子どもを対象としたイベントなど新たな取り組みも実施し、立川駅南口周辺地域の活性化につながる事業を行っている。		A	平成25年12月から、現事業者による指定管理となるため、評価対象は4か月分となる。 運営直後の段階では、一部未対応の項目も見られたが、早急に対応されている。 主管課及び前事業者との連携も密に行われており、仕様書等の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成25年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
立川市子ども未来センター	プロポ後の非公募	産業文化部地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日から平成36年3月31日（11年4か月）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	立川市旧庁舎施設等活用事業 (施設全般の管理運営に関する業務・自主事業)	産業文化部地域文化課	A	A
2	立川市旧庁舎施設等活用事業 (子育て支援業務)	子ども家庭部子育て推進課・子ども家庭支援センター・保育課	A	A
3	立川市旧庁舎施設等活用事業 (市民活動支援業務)	産業文化部協働推進課	A	A
4	立川市旧庁舎施設等活用事業 (文化芸術活動支援業務)	産業文化部地域文化課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

各業務について、仕様書等に基づいて概ね適切に運営されている。

施設管理に関する業務及び子育て支援業務に一部B評価が見受けられたが、改善に向けた努力・工夫が認められる。

市民会館との一体的活用の充実化や、さらなるにぎわい創出などの課題があるが、引き続き効率的かつ効果的な施設運営に努め取り組まれない。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター		非公募・特命	産業文化部 地域文化課
指定管理者名		指定管理期間	
合人社計画研究所グループ		平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
1	立川市旧庁舎施設等活用事業(施設全般の管理運営に関する業務・自主事業)	産業文化部 地域文化課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、公共サービスが円滑に提供されている	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解している	業務マニュアルの作成・更新を行った	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者に対し、公平・公正に対応するよう予約システムを運用している	A		
事業の継続性の担保	各種マニュアルを整備し、各自に教育している	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:358日(まんがぱーくは365日) 開館時間:8:30~22:00(まんがぱーくは夏休み期間中1時間営業時間を延長) 職員配置:正社員及び臨時職員 10人 臨時職員賃金:時給950円	S×1 A×4	基本的事項については、概ね実施計画どおり実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。 まんがぱーく大市などの大規模行事が定着してきており、施設のにぎわいづくりに貢献している。 提案項目については、実施されている。	A
利用状況	【利用状況】 利用者延べ人数 252,151人 【内訳】 施設貸出利用者数 60,794人 まんがぱーく利用者数 43,893人 広場イベント来場者数 34,000人 広場来訪者数 26,912人 駐車場利用者数 86,552人	A		
運営企画	立川まんがぱーく大市(毎月第1日曜日) 立川つまみぐいウォーキング(10月5日)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:43,587,000円、支出:43,587,000円 * 指定管理料同額 人件費比率:48.39%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	請負賠償責任保険(子ども未来センター全体が対象) 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	清掃業務、警備業務、建物保守管理業務、設備保守管理業務	A		
新たな取り組みの状況	まんがぱーく内に検索システムを導入。半個室スペースの増加。芝生広場の桜木の植樹およびテーブルと椅子の設置。利用者懇談会の実施。	S×1 A×4		
提案の実施状況	集客力のある自主事業を開催(立川まんがぱーく大市) 施設周辺の清掃を実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	マナーマニュアルに則り対応。利用者アンケートでは満足・おおむね満足が85%以上。	A	概ね利用者の立場に立って接客ができています。 前年度課題であった受付職員のレベルについては改善がみられる。 各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化がなされている。	A
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議を実施している。 危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等を記載している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、施設HPにて公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成、配布した。ホームページで施設利用案内、行事案内を行った。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築できている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	概ね適正に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。 備品の破損については、早期の対応に努められたい。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	地下スタジオ倉庫扉修繕 トイレの便座蓋交換 1階テラスウッドデッキ修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成し適正に管理しているが、屋外テーブル等一部備品に破損が見られる。	A×1 B×1		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A	個人情報保護規定を制定し、概ね、適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、鍵付の書庫等に保管している。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規程を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	・貸館利用者が窓ガラスに衝突し、ガラスが破損。 ・空調配管から会議室への音漏れ	A	事故等に対しては適切に対応した。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	速やかに施設関係部署及び警察・消防・病院等に連絡を行う。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	不審者が来館している子ども達に声掛けしたので警察に連絡。警官が駆けつけ警備巡回を実施した。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、周辺関連機関への連絡体制を整備している。 避難訓練(1回)を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	南口商店街連合会との意見交換や懇親会。市民参加型のイベントの企画、商工会議所との意見交換や親睦会、地域のにぎわい創出のための人的資源や場所の提供、中学生の職場体験の受け入れなど。	A	地域団体との意見交換や懇親会の機会を設け、地域貢献に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
施設の利便性向上と利用を促進	S評価・・・携帯WiFi機器の設置。芝生広場でのイベント開催のためテントとパラソルの購入。シニア層を対象にまんがぱーく入館券及びドリンク券の配布。南口商店街の夏祭りイベントの抽選の景品として入館券を提供。 A評価・・・有料駐車場の料金の改定を実施。自治会夏祭りへの協力。	S×5 A×2	イベントの充実やまんがぱーく利用者の拡大、地域との連携強化などに、意欲的に取り組んだことは評価できる。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。			—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>施設の保全業務については仕様書等に基づいて適切に行われている。</p> <p>施設貸出をはじめとする施設運営について未習熟な部分が多く見られたが、徐々に改善されてきている。引き続き、利用者目線に立った運営が求められる。</p> <p>書類提出等に一部遅れが見られた。</p> <p>まんがぱーく大市を中心としたにぎわい創出への取組は、商店街、教育機関、市民団体等との連携協力の下、意欲的に実施されており、立川駅南口周辺地域のにぎわい創出という本事業の主要な目的を果たすべく機能し始めている。</p> <p>市民会館との施設の一体的活用については、目立った成果が見られないため、さらなる推進が求められる。</p>		A	<p>オープン当初の前年度は、受付での混乱やメール誤送信などの不手際もあったが、現在は改善されている。</p> <p>にぎわい創出への取り組みは、まんがパーク大市をはじめ、成果が上がってきている。</p> <p>施設管理については、仕様書等に基づき、適切に行われており、総合的には仕様書等のレベルに達していると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	産業文化部 地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	立川市旧庁舎施設等活用事業(子育て支援業務)	子ども家庭部 子育て推進課・子ども家庭支援センター・保育課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、本施設における子育て支援サービスが円滑に提供されている。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解している	職員全員で仕様書の読み合わせを行い、それぞれの業務に必要な研修を実施した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	事前告知を行い利用者に対し、公平・公正に対応するようシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	定期的な研修で専門知識を身につけている。引継ぎ期間を設け、事業の継続性を確保している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:347日 開館時間:8:30～17:00(子育て支援事務室は、提案よりも平日は1時間、土日は30分開館時間を延長した。) 職員配置:正職員及び臨時職員 19人 臨時職員賃金:時給1,000円～1,250円	A	基本的事項については、概ね実施計画どおり実施されている。賃金単価については、法令等遵守されている。 敷地内花壇の活用については、市民に植栽や農業体験を楽しんでもらうという企画意図は評価できる一方、見映えが良くなく苦情もある現状から、今後の進め方について検討の余地はある。 提案項目の、子育て講座やイベント、一時あずかり保育、利用者ニーズに応じて実施されている。 子育てひろばの相談についても、目標件数を達成しているが、内容及び記録には改善の余地がある。	A
利用状況	【利用状況】 利用者延べ人数 25,806人 【内訳】 一時あずかり保育利用者 1,460人 子育てひろば利用者 17,530人 地域啓発利用者 6,816人	A		
運営企画	地域懇談会、七夕まつり、未来センターハロウィン、クリスマス、アィムホールを使用した大きなイベント	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:64,245,300円、支出:64,245,300円 * 指定管理料同額 人件費比率:86.46%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	団体総合補償制度費用保険 支払限度額:300万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	印刷業務、丁合・製本業務	A		
新たな取り組みの状況	情報紙「ほほえみ」品質向上、敷地内花壇の活用	A		
提案の実施状況	・子育て支援につながる講座・イベント等 ・一時あずかり保育業 ・子育てひろば事業	A×2 B×1		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接遇研修を実施し、マニュアルに則り対応している。	A	接遇については、マニュアルに沿って良好に行われた。 子育てひろばマニュアルについては、早期に整備される見込みである。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化をはかっている。 公平・公正な利用システムが構築されているが、市外利用者が多いため、市民の利用が阻害されることのないように運用されたい。	A
マニュアルの整備	ビジネスマナー・危機管理・一時あずかり保育・子育てひろばマニュアルが整備されているが、子育てひろばマニュアルは未確認。	A×1 B×1		
研修・教育の実施状況	実施されている。	A		
所管部署との連携・連絡	整備している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果を館内掲示にて公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成、配布した。ホームページでも施設利用案内を周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
業務の点検	行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	概ね適正に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	一時あずかり室の網戸の設置	A		
備品管理	備品台帳を作成し適正に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A	個人情報保護規定を制定し、概ね、適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、鍵付きの書庫などに保管している。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	・一時あずかり保育を利用した1歳児から0-157が検出されたと、立川保健所から連絡が入る。 ・子育てひろばで1歳児が熱性けいれんを起こした。	A×1 B×1	事故・苦情等には概ね適切に対応している。軽微な内容ではあるが、事故報告の件数は他の子育てひろばよりも多いため、さらなる事故防止に努められたい。 マニュアルは整備され、対応体制が確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	ヒヤリ・ハット報告書に記録し、職員全員の周知、改善をはかる			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・乳幼児がドア開閉部に背中をつけて立つ。 ・不審者に声をかけられた地域の方が助けを求めてきたので、総合窓口へ伝え対応した。			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、災害時の避難対応・不審者対応などの取り組みを行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	・利用者懇談会・地域懇談会を開催し地域との連携に積極的に取り組んでいる。 ・市民に玩具作りを依頼しグループ活動室で使用している。	A	地域との連携・交流に積極的に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
くるりん農園 養蜂準備	・土を耕し、花や野菜を育て、利用者親子と収穫をした。 ・花壇に菜の花の種を蒔き、地域の方々に喜ばれた。	A	利用者や地域住民に喜ばれたが、管理面では課題もある。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。			—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>一時預かり保育事業については、利用者数は目標に達していないものの、適切に保育が実施されている。</p> <p>子育て支援啓発業務については、自己評価及び1次評価とも概ねA評価となっており、当初に想定していた仕様書等の内容を満たしている。</p> <p>子育てひろばについては利用者人数・相談件数ともに当初の目標を上回っており概ね適切に行われているが、安全管理・相談業務の質の向上には一層努められたい。</p> <p>子育て支援業務全体としては、A評価と判断できるが、課題も見られるため、26年度での改善を要望する。</p> <p>全体責任者やスーパーバイザーを配置していることから、指導・管理・監督業務を強化し、各事業の相乗効果による子育て支援の総合的推進を図られたい。</p>		A	<p>地域の子育て支援の拠点として、概ね適切な運営が行われた。課題点は見られるものの、運営開始直後の状況から安定的な運営に向かう段階でのものと考えられ、今後の改善に期待する。全体としては、仕様書等の水準には達していると判断しA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	産業文化部 地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課
3	立川市旧庁舎施設等活用事業(市民活動支援業務)	産業文化部協働推進課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	指定管理業務仕様書に従い、本施設における市民活動支援機能が円滑に提供されている	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解している	定期的な研修、教育を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	募集要項にのっとり、公平に利用登録を行っている。また、5つの活動コンセプトに沿ったプログラムか判断し実施サポートしている。	A		
事業の継続性の担保	全てのコーディネーターに業務内容を安定的に実施するための教育体制をとっている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:358日 開館時間:9:00~21:30 職員配置:正職員 3人	—	市民のネットワーク構築や新たな市民活動参加者の掘り起しのため、工夫して取り組んでいる。 市民が主体となった市民サービス提供を支援する施設として、外部からの注目も高く、多くのメディアや行政からの取材・視察があった。 提案項目については、着実に実施されている。	A
利用状況	【利用状況】 利用者数 4,927人 【内訳】 協働事務室利用者数 1,576人 市民活動プログラム参加者数 2,813人 市民活動プログラムスタッフ参加者数 538人	A		
運営企画	登録団体懇親会の実施(年5回) 協働事務室開放日の実施(年4回)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:20,591,000円、支出:20,591,000円 * 指定管理料同額 人件費比率:54.0%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	行事参加者にかかわる傷害保険 支払限度額:1事故500万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	特になし	—		
新たな取り組みの状況	市民活動支援・協働事務室の周知活動、市民団体のネットワークの構築、地域・企業との協働プログラムの実施支援、視察・取材対応、市民ボランティア養成講座の企画・実施、市民活動支援協議会の実施	A		
提案の実施状況	市民活動関連施設等の貸出・管理、市民活動者数及びプログラム参加者数の把握、市民の参加促進・ネットワーク構築、市民活動プログラムの広報・実施支援	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適時教育を実施しながら対応。プログラム実施団体からは、非常に高い評価を受けている。	A	利用者への対応は良好であり、利用者アンケートでも高い評価を得た。 各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化を図っている。	A
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	職員に対して2回の社内研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	月1回の連絡調整会議、分科会の他にも適時電話、メールでの連絡・調整を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	プログラム参加者、プログラム実施団体に対してアンケートを行い実施団体に公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市民活動支援機能パンフレット、プログラム通信、毎月プログラムのカレンダーなどを発行、またホームページでも周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	募集要項に基づき、公平な利用登録を行っている。	A		
業務の点検	毎週定例会を実施し、業務の点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—		
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	評価対象外	—		
小規模修繕	評価対象外	—		—
備品管理	評価対象外	—		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している。	A	個人情報保護規定を制定し、概ね、適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している。	A		
適正な管理	個人情報に記載されている書類等については、厳重に保管している。	A		
再委託の禁止	業務を第三者に委託していない。	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	—	特に大きな事故や苦情はなかった。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	評価対象外	—		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地元の自治会、商店街との連携に積極的に取り組んでいる。 センター周辺の清掃活動(指定管理者全体で月1回)を実施している。	A	住民や関係機関とのネットワーク構築に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし				—
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。			—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
<p>市内外の市民活動団体が、市民活動コーディネーターの助言等により、子ども未来センターを活用して数多くの市民活動プログラム(平成25年度は135事業)を提供し、団体の活動が活性化した。プログラムの広報だけでなく、子ども未来センターのホームページ作成業務も手掛けていることは評価できる。</p> <p>市民活動支援協議会を設置し、登録団体や有識者の意見を随時活かして事業を行っている。</p> <p>自治会、商店街関係者、企業等と登録団体を交えたネットワークづくりを積極的に行い、子ども未来センター周辺のにぎわいづくりに貢献している。</p> <p>子ども未来センターの運営及び市民活動プログラム実施支援に係るボランティアの育成や組織化、活動支援を行い、個人として子ども未来センターに関わりたい人の多様な活動を支援している。</p> <p>※市民活動プログラムとは、市内外で活動する市民活動団体の主催で市民に提供する講座、イベントなどのこと。</p>		A	特に問題なく運営され、利用者アンケート結果も良好であった。施設の目的に沿った、効果的な運営がなされたと判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市子ども未来センター	非公募・特命	産業文化部 地域文化課
指定管理者名	指定管理期間	
合人社計画研究所グループ	平成24年12月1日～平成36年3月31日(11年4か月)	
事業番号	事業名称	事業担当課
4	立川市旧庁舎施設等活用事業(文化芸術活動支援業務)	産業文化部 地域文化課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	評価対象外	—		—
職員が施設の設置目的を十分に理解している	評価対象外	—		
利用者の公平・公正利用の確保	評価対象外	—		
事業の継続性の担保	評価対象外	—		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	評価対象外	—	まんがを軸に、様々な企画が行われ、好評を得ている。講座により参加人数にはばらつきがあるため、さらなる参加者増の余地がある。	A
利用状況	【利用状況】 文化芸術講座参加者数 615人(前年度38人 ※3月のみ)	A		
運営企画	クラシック音楽のあゆみ、400年の時代都市・江戸東京の歴史を知る、ヴァイオリン・グループレッスン、留学生と一緒にまんがぱーく見学、まんがの描き方講座、スポーツスタッキング教室、ダンス&ヴォーカル体験講座、フルーツ・グループレッスン、干支をまんが風に描いてみよう	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:6,000,000円、支出:6,000,000円 * 指定管理料同額 人件費比率:40.0%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	普通傷害保険 支払限度額:1億5千万円(センター全体対象の請負賠償責任保険10億円に追加で加入) 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外	—		
新たな取り組みの状況	留学生と一緒にまんがパーク見学、まんがの描き方講座、干支をまんが風に描いてみよう	A		
提案の実施状況	音楽、ダンス、漫画絵、歴史など、幅広い文化芸術活動の支援を年間通して実施	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		J	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	マナーマニュアルに則り対応。笑顔の接客に努めている姿が見られる。	A	概ね利用者の立場に立って接客ができている。 各種マニュアルを整備し、それに基づき実施されている。 月に1回関連部署を集めて、連絡調整会議を実施しており、情報の共有化を図っている。	A
マニュアルの整備	市が求めたマニュアルは整備され、概ねそれに基づいて実施されている。	A		
研修・教育の実施状況	随時実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月1回連絡調整会議を実施している。危機管理マニュアルに緊急連絡先、災害時処理フロー等を記載している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、月報にて報告している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設案内リーフレットを作成、配布した。ホームページで施設利用案内、行事案内を行った。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書と月次報告書を作成、市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	公平性に配慮した形で構築できている。	A		
業務の点検	四半期毎に実施している。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	—	—
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	評価対象外	—		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	評価対象外	—		
—	—	—		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報の取り扱いについて職員に指導している	A	個人情報保護規定を制定し、概ね、適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	各種条例等の規定に基づき業務を執行している	A		
適正な管理	個人情報が記載されている書類等については、鍵付の書庫等に保管している。	A		
再委託の禁止	市の承諾なしに、業務を第三者に委託していない	A		
研修・教育の実施	適切に実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護規定を整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	該当なし	—	マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	速やかに施設関係部署及び警察・消防・病院等に連絡を行う。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	該当なし			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づく体制を構築し、周辺関連機関への連絡体制を整備している。避難訓練(1回)を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	評価対象外	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし				
(10)立川市のコスト削減状況				
該当なし	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
<p>当施設の主要テーマの一つである「まんが」を軸に、楽器や歴史等多様なジャンルを題材に講座が実施されている。</p> <p>商店街や地域文化振興財団との連携、留学生の参加など、工夫しながら取り組んでいる。</p> <p>一過性の企画に偏らぬよう、参加者が施設や他の参加者とのつながりの中で過ごすことができるような、開催期間に幅のある企画も今後期待したい。</p>		A	<p>様々な分野の講座を実施し、参加者に学びの楽しさを提供した。今後も、さらに多くの方の参加が得られる企画の実施に期待する。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸児童館	公募	子ども家庭部 子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1) 施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日に会議を行い、設置目的や運営事項を確認した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合いや利用案内の配布、使用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職、異動に際し、引き継ぎの期間を設け、業務が正常に継続されるよう配慮している。	A		
(2) 業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで) 職員配置: 常勤4名、非常勤6名(内1名は隔週1日 夜間対応職員) 非常勤賃金 時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 団体利用は増加したが、利用者数は前年度より微減となった。 多様な運営企画が実施され、多数の参加があった。 提案の実施状況について、前年度に未実施となっていた料理教室、学保護者向け学習会、企業向け出張講座は実施されたが、学習ひろばについては、現在も提案内容に達していない。早期の実施を望む。	A
利用状況	【児童館利用者】 24,576人(前年度25,400人) 【団体利用】 延べ1,527人(前年度1,206人)	A		
運営企画	子どもの日企画、子ども実行委員会によるお化けやしき、宿泊行事、乳幼児企画、地域との連携の行事など	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入: 35,224,432円(指定管理料) 支出: 35,173,914円 事業収支: 50,518円 人件費比率 76.2% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、館内窓ガラス清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、特殊建築物定期検査、樹木剪定、非常通報装置保守管理、絨毯清掃	A		
新たな取り組みの状況	地域交流・多世代交流、地域・企業との連携	A		
提案の実施状況	(B評価となった項目) 学習ひろば: ボランティアによる学習支援体制の確立という提案であったが、自習スペースの提供にとどまった。	A×8 B×1		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 ブログや館独自ホームページの立ち上げなどに、他館の先導的な役割として取り組んだ。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内での研修が充実しており、かつ各種研修会・会議等へ積極的に参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	2月初旬より実施。結果を館内に掲示した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内リーフレットを発行している。また、市HPへのおたより掲載、ブログでの情報提供、児童館独自HP立ち上げに向けた準備を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	各種会議、交流会等にて周知に努めている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	シャッター修理、畳張り替え	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、事業本部が巡回して確認している。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理し、データはパスワードで保護している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修を実施 各現場の事例検討研修実施	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の苦情があったが適切に対応されている。 ・お泊り会での館庭での花火に対する近隣からの苦情 ・職員の指示に従わなかった生徒の母親からの、指導の仕方に対する苦情	A	隣接の公園での事故対応も行っている。施設内・公園内の事故とも特に問題なく対応した。 今後も子どもや近隣への丁寧な対応に努められたい。	A
事故の予兆に対する対応	友人同士のトラブルの場合、まずお互いを引き離し、個々に話しを聞き、落ち着いてから当事者同士で話すよう促す。 危険個所から遠ざけ、安全な場所へ誘導する。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・学校より脱走し児童館へ来館 ・幼児単独での児童館来館 ・公園清掃時錆びた鉄パイプが見つかる			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや職員会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 児童館単独での避難訓練の実施。自治会との共催での避難・防災訓練の実施。不審者対応については随時確認。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域懇談会の開催や、公園の清掃等を通じ地域との関係を築いている。 また、地域の行事や会議に積極的に参加し、地域の児童館として役立っている。	A	地域住民との連携は強化されている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
子ども主体の運営 多世代交流 自治会との連携 地域・他児童館との連携	子どもたちの意見を聴き運営に反映するとともに、子ども主体の運営を促進した。 地域交流会や多世代交流まつりを実施。 そのほか、自治会や幸・栄子連との共催行事を実施。	A	多世代交流や地域との交流を進めている。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	6,858,881円の削減。(平成20年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>毎年、各種機関との連携・協力が広がっているが、平成25年度は新たに幸・栄子連との共催行事を行い、また、企業からボランティアを受け入れるなど企業との連携も少しずつではあるが始まっている。</p> <p>多数の地域の会議や行事などに参加し、また、共催行事を実施することにより、地域との交流を深めた。</p> <p>平成21年度指定管理者導入当初から、隣の公園の清掃を毎日行い、周辺住民との関係作りに努め、また、公園で遊んでいる児童のトラブルにも対応している。同時に、公園での夜遊びやごみに関しても、児童館へ苦情が寄せられているが、付近の見守り等可能な限り対応している。</p> <p>子どもの居場所確認の連絡が保護者よりしばしばあり、外で遊ぶときはとりあえず児童館へ、とわが子に伝えているという声もあり、地域の居場所としての役割が大きくなっている。</p>		A	<p>館の管理・運営だけでなく、清掃活動などを通じてながら、地域に溶け込んでおり、地域の児童館として、より認知が深まっていると感じられる。</p> <p>最初に指定管理者導入された館であり、他館に先駆けた取り組みが見られる。</p> <p>適切に管理運営されたと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達成している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松児童館	公募	子ども家庭部 子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日に会議を行い、設置目的や運営事項を確認した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合いや利用案内の配布、使用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	会議や研修を通じて、事業が安定的に行われるようにした。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は21:30閉館) 職員配置: 常勤3名、非常勤5名(上期) 常勤2名、非常勤9名(下期) 非常勤賃金: 時給1,000円	A×3 B×2	利用者数は7%程度の増となった。 9月～3月の期間、常勤職員の雇用と配置が仕様書の基準に満たなかった。(非常勤の増員で対応) 給与単価については、法令等遵守されている。 多様な運営企画を実施し、かつ、中身の充実が図られた。 提案内容については、お概ね実施されている。	A
利用状況	【児童館利用者】 25,266人(前年度23,570人) 【団体利用】 延べ737人(前年度893人)	A		
運営企画	子どもの日企画、宿泊行事、地域との連携・子ども実行委員、中高生企画、季節行事、高松会館・高松学習館・幸児童館との連携行事	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入: 34,503,148円(指定管理料) 支出: 34,449,754円 事業収支: 53,394円 人件費比率 79.2% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守、窓ガラス掃除、害虫駆除、絨毯清掃、非常通報装置保守管理	A		
新たな取り組みの状況	放課後子ども教室との連携(出張児童館等)、商店街との連携(エコキャンドル作り)、地域との連携(文化祭、曙子連祭り等)	A		
提案の実施状況	食育事業(緑のカーテンサポート隊、ランチタイム等)、小学生支援(工作週間等)、中高生支援(大型行事の手伝い等)、親支援(おむつ外し講座、リトミック等)、多世代交流事業、商店街・会館・学習館祭りとの連携	A		

評価の視点及び項目			2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。 利用者アンケート(乳幼児の親)では、全員が満足と回答。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 利用者アンケートの結果は良好であった。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、衛生管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、清掃マニュアルを設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内での研修が充実しており、かつ各種研修会・会議等への積極的に参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内を作成している。 市HPにおたより掲載。児童館独自でHP立ち上げに向けた準備を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが利用できるようになっている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	一輪車修繕	A		
備品管理	備品台帳により適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部が巡回して確認	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施 各現場の事例検討研修実施	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	3件の事故・苦情があったが適切に対応された。 ・職員との鬼ごっこ中のけが ・子ども同士のトラブルとそれに関するクレーム ・行事準備の際に利用者に混乱を与えた	A	安全管理は適切に行われている。 事故・苦情については適切に対応された。	A
事故の予兆に対する対応	遊戯中に転んだり、ラケットがほかの子どもに当たったりすることは多い。その場合は、すぐに冷やし保護者への連絡をするようにしている。遊んでいる最中の子どもたちの見守り、声掛けを話し合い再発防止に努めている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・子育て広場の対応中、幼児がトランポリンの下に隠れて踏まれそうになった。 ・名前の入った私物のゲームが無くなった。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや職員会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 避難訓練を実施、地域の防災訓練に参加。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域懇談会の開催や、高松会館、学習館、商店街との連携、子ども家庭支援センターや民生・児童委員などの関係機関との連携に努めている。 また、小学校への出張児童館や放課後子ども教室との連携、火ばさみ隊によるゴミ拾いなどにより、地域に貢献している。	A	地域と情報交換をし、開かれた児童館の運営に努めているだけでなく、地域に溶け込み活動を行っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
子ども主体の運営 児童館の有効活用 乳幼児事業の拡充 地域団体との連携	子どもたちによる、主体的な運営の促進。 近くに児童館のない南砂小への出張児童館の実施。 屋上での緑のカーテンづくり。 親子サークル、子育てひろば、ランチタイム事業、保育園での出前講座の実施。 健康フェアや子連祭りへの参加。	A	利用者の意見を聴き、積極的に事業展開をするとともに、地域や関係機関との交流に努めている。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	5,768,338円の削減。(平成22年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
25年度はエコキャンドル作りや高松学習館文化祭、曙子連祭り等を通じて商店街や地域との連携に取り組んだ。また、放課後子ども教室との連携や南砂小学校出張児童館を新たに行った。 地域団体の会議に積極的に参加し、商店街との連携、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。 乳幼児親子の事業にも力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。 以上のように、新たな事業を実施し、利用者も増加し、安定的な運営が行われている。		A	出張児童館や放課後子ども教室との連携等、積極的に地域に出ていく運営がなされ、利用者増につながった。 利用者アンケートの結果も良好であった。 以上より、管理運営は適切になされたと判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成25年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
若葉児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日から平成30年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	若葉児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	若葉学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

児童館、学童保育所併設施設の指定管理者導入は初めてであったが、特に問題なく、併設施設のメリットを生かしながら、良好に管理・運営された。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称		公募の有無	施設担当課
立川市若葉児童館		公募	子ども家庭部 子ども育成課
指定管理者名		指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ		平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課	
1	若葉児童館運営管理	子ども家庭部 子ども育成課	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日に会議を行い、設置目的や運営事項を確認した。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合いや利用案内の配布、使用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職、異動に際し、引き継ぎの期間を設け、業務が正常に継続されるよう配慮している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数: 333日 開館時間: 9:00～20:00(貸館時は22:00まで開館) 職員配置: 常勤3名、非常勤5名 非常勤賃金: 時給1,000円	A	利用者数は微増であったが団体利用は減となった。 基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。 多様な運営企画を実施し、かつ、中身の充実が図られた。 提案内容については、概ね実施されている。	A
利用状況	【児童館利用者】 21,194人(前年度21,090人) 【団体利用】 延べ851人(前年度1,499人)	A		
運営企画	鯉のぼりを作ろう、藍染め教室、夏祭り、ハロウィンパレード、地域異世代交流、若葉会館祭り、若子連お楽しみ会、連風揚げ大会	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入: 51,392,450円(指定管理料) 支出: 51,332,431円 事業収支: 60,019円 人件費比率: 79.2% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額: 3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守点検、清掃、害虫駆除、建築設備定期検査、特殊建築物定期検査、植木せん定、非常通報装置保守、ピアノ調律、カーテンクリーニング	A		
新たな取り組みの状況	乳幼児親子サークル作りの支援・子育て講座・相談、小学生子ども会議、児童館アンケート、中高生居場所づくり・ボランティアなど	A		
提案の実施状況	食育講座、学習スペースの提供、救命講習・リトミック、妊産婦講座、座談会、敬老の日・クリスマス会、藍染め、季節にちなんだ工作、遠足・連風揚げ大会、クッキングなど	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 利用者アンケート結果については、年度中に公表することができなかった。 実施時期の見直し等により、次年度は改善されたい。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内での研修が充実しており、かつ各種研修会・会議等への積極的に参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成25年度末に実施し6月に掲示予定。	B		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内を見直し作成中、7月に学校へ配布予定。 市HPへのおたより掲載。ブログでの情報提供。児童館独自HP立ち上げに向けた準備。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者すべてが平等に利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	フロアマットの設置及び交換 事務室窓の鍵交換	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部が巡回して確認	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施 各現場の事例検討研修実施	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	2件の事故・苦情があったが適切に対応された。 ・転倒により靴箱の角に右目上をぶつけケガ ・館庭でサッカーをしている最中、蹴ったボールが団地の窓ガラスにあたって破損	A	安全管理については適切に対応されている。 地域合同の防災訓練は未実施であるため、地域とのさらなる連携を図られたい。	A
事故の予兆に対する対応	7月頃から不審者情報が度々入ってきたため、派出所に連絡するとともに、児童館でも周辺を定期的にパトロールを実施。また、青少健や若子連の理事会にも報告し、地域での見守りを促進した。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	2階の窓ガラスをあけて下をのぞきこんでいる小学1年生がいるため、安全確保のため窓用の安全ロックをかけることにした。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや職員会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 児童館では応急救護訓練を1回実施。	A×11 B×1		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会や行事・会議への積極的な参加等により連携を図っている。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
子ども主体の運営 地域団体との連携 児童館の有効活用 乳幼児事業の拡充	子どもたちの話し合いによる、子ども主体の運営を促進した。 地域行事に参加するだけでなく、児童館主体の行事を学校で行うなど、地域との連携を深めた。 親子サークル、子育て広場、ランチタイム事業、保育園での出前講座等を実施。	A	さまざまな取り組みにより、地域のボランティア、団体等と幅広い連携を進めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	3,659,644円の削減。(平成20年度決算との比較)	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
指定管理者による運営を開始するにあたり、日曜開館、利用時間拡大、事業の充実に取り組み、利用者数が増えている。地域交流、乳幼児事業、多世代交流、中高生対策等、指定管理者制度導入前のレベルを超えて実施している。 地域団体の会議に積極的に参加し、若葉会館まつりや若子連お楽しみ会等地域行事にも参加、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。 乳幼児親子の事業にも力を入れており、子育て支援に取り組んでいる。 以上のように、新たな事業を実施し、安定的な運営が行われている。		A	小学生だけでなく、中高生、乳幼児など対象を拡大し、より一層地域の児童館として認知されるよう取り組んだ。 特に地域へ踏み出して行う活動や乳幼児事業には注目される。新たな事業を展開しながら、適切に管理・運営されたと判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉学童保育所	公募	子ども家庭部 子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	若葉学童保育所運営管理	子ども家庭部 子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月2回学童団会議、随時児童館・学童保育所の合同団会議において、設置目的や運営事項を確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を計っている。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職、異動に際し、引き継ぎの期間を設け、業務が正常に継続されるよう配慮している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤2名、非常勤5名 非常勤賃金：時給1,000円	A	利用者数は約1割の増であった。 基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 提案内容については、概ね実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】 定員数 46人 延べ利用人数 7,525人(前年度6,773人)	A		
運営企画	入所歓迎会、お誕生日会(毎月)、工作、お別れ会、お楽しみ会	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(若葉児童館にて評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(若葉児童館にて評価)	—		
新たな取り組みの状況	子ども会議、地域交流会	A		
提案の実施状況	児童館行事への参加、地域懇談会への参加、子育て広場への参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それにそって業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	内部・外部の研修、会議などへ積極的に参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	若葉児童館にて実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内を設置。 市ホームページでの情報提供。	A		
事業計画・報告書の公表	年間事業計画を利用者に配布。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	若葉児童館にて実施。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部が巡回して確認	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施 各現場の事例検討研修実施	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の事故・苦情があったが適切に対応されている。 ・おやつをめぐるトラブルから、所外への脱走。 ・ロッカーからの落下物によるけが。 ・解除作業不備によるセコムの誤作動。 ・児童の手を引いた際に痛みが泣き出した。	A	事故、苦情に対しては適切に対応されている。	A
事故の予兆に対する対応	登所の道のりでのトラブル・けがが数件あったため、学校と情報共有しながら対応している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや職員会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 毎月、避難訓練を実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	若葉町青少健、若子連と連携し、情報共有している。 学校行事への積極的な参加、高齢者施設の方へのプレゼントなども行っている。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
子ども主体の運営 児童館との連携	子どもたちの話し合いによる、子ども主体の運営を促進した。 児童館行事へ積極的に参加した。	A	児童館と連携し、子どもたち主体の運営を進めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	若葉児童館にて記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		2次評価
◆ 総合評価				
児童館併設の学童保育所への指定管理者制度導入は初めてであるが、大きな事故、トラブル、苦情等もなく、良好に運営されている。		A	児童館との併設のメリットを生かしながら、良好に運営されている。 指定管理2年目以降は、運営・企画のさらなる充実を期待する。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート（平成25年度指定管理分）

複合施設総括表

施設名称	公募・非公募	施設総括担当課
西砂児童館	公募	子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日から平成30年3月31日（5年）	

事業番号	事業名	事業担当課	総合評価 (1次評価)	総合評価 (2次評価)
1	西砂児童館運営管理	子ども育成課	A	A
2	松中学童保育所運営管理	子ども育成課	A	A

施設総合評価（2次評価）	A
--------------	---

評価理由等：

指定管理開始初年度として、児童館では地域と積極的に連携を深めながら、概ね適切に管理・運営された。また、学童保育所についても、年度当初には問題があったものの、改善され、その後は概ね適切に管理・運営されている。

全体としては、仕様書等の水準に達していると判断し、総合評価はAとする。

ただし、児童の同士や児童と職員間のトラブルなどが他館よりも多く見られるため、事後の対応だけでなく、未然防止にさらに取り組みたい。

評価ランク	
S	仕様書、提案書、協定書、業務マニュアル等（以下「仕様書等」という。）で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等に定められた水準に達しておらず、かつ、施設運営等に支障が出ており、早急に改善を要する

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂児童館	公募	子ども家庭部 子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業担当課	
5	子ども家庭部 子ども育成課	
1	西砂児童館運営管理	子ども家庭部 子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入職時の研修と館内整理日の会議において、設置目的や、運営事項を確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	児童館使用についての話し合いや利用案内の配布、使用方法の統一化を図った。	A		
事業の継続性の担保	会議や研修を通して業務が正常に継続するよう配慮している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：333日 開館時間：9:00～20:00(貸館時は21:30まで) 職員配置：常勤4名、非常勤5名(上期) 常勤4名、非常勤5～6名 非常勤賃金：時給1,000円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 給与単価については、法令等遵守されている。 利用者は指定管理者導入前より約1,500人の減となった。 多様な運営企画を実施し、かつ、中身の充実が図られた。 提案の実施状況について、当初の企画書に記載された講座等は概ね実施され、平成26年度にもさらなる展開が予定されている。	A
利用状況	【児童館利用者】 17,570人(前年度18,916人) 【団体利用】 延べ85人(前年度0人)	A×11 B×1		
運営企画	子ども実行委員会によるお化けやしき・クリスマス会、松明祭り、三世代フェスタ、ハロウィン、バレンタインクッキング、にしすな子どもまつり、学習館まつり	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：54,782,181円(指定管理料) 支出：54,695,970円 事業収支：86,211円 人件費比率：78.9% 指定管理料の中で適正に事業を行うことができた。	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守点検業務、定期清掃、害虫駆除、非常警報装置、樹木剪定、空調機保守、建築設備定期検査、特殊建築物定期検査、絨毯清掃	A		
新たな取り組みの状況	中高生に対する取り組み(中高生会議等) 乳幼児親子に対する取り組み(子育て講座等) 小学生に対する取り組み(子ども会議等)	A		
提案の実施状況	食育事業、小中学生の学習支援、専門家による教室、保護者向け学習会、子育て講座、妊産婦講座・座談会、父親育児講座、多世代交流、復興支援・被災地理解、動物の飼育、不用品の交換会、若者就労支援など	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。 利用者アンケート結果については、年度中に公表することができなかった。 実施時期の見直し等により、次年度は改善されたい。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、衛生管理マニュアル、清掃マニュアル等を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	法人内での研修が充実しており、かつ各種研修会・会議等へ積極的に参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	各種会議による連絡・調整、所管部署との定期的な連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	通年意見箱の設置により実施したが、年度内の公表には至らなかった。	A×1 B×1		
広報・PR等の利用情報の提供	利用案内を作成し学校などに配布。 また、市HPへのおたより掲載、ブログでの情報提供、児童館独自でHP立ち上げに向けた準備を行っている。	A		
事業計画・報告書の公表	館内で閲覧できるようになっている。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	ガラスの修繕 給湯器の修繕 パネルカーベットの入替	A		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部が巡回して確認。	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が保護されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施 各現場の事例検討研修実施	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	6件の事故・苦情があったが適切に対応されている。 ・子ども同士のトラブル ・遊戯中のけが ・高校生と職員間でのトラブル ・金銭やカードの盗難など	A	事故・苦情等に対しては適切に対応しているものの、子ども同士のトラブルや盗難が見られた。未然に防止できるよう、一層の対策を検討されたい。	A
事故の予兆に対する対応	館庭での軽微な怪我が多いため、遊び方や遊ぶ場所などを随時注意している。攻撃的な行動をとる児童には、その場での指導と共に、保護者、学校、子ども家庭支援センター、警察等と連携し対応している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・2階遊戯室の窓のパイプの隙間から下の様子を覗き込む。 ・高校生が職員に殴りかかったので、落ち着かせて複数の職員で別室で指導した。 ・男子児童が金属製のパイプを持ってきたので、児童館で預かり、危険なものを持ってこないよう指導した。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや職員会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 また、学童・児童館合同避難訓練1回、消防署による救急救命講座を実施。	A×1 B×1		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域交流会の実施、西砂学習館運営協議会への参加、西砂青少健、西砂子連との連携し地域行事に積極的に参加している。	A	地域との連携は強化されている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
子ども主体の運営 児童館の有効活用 乳幼児事業の拡充 地域の団体との連携 多世代交流	子ども会議の実施、大型行事での実行委員会などにより、子ども主体の運営を進めた。 ボランティアによる読み聞かせ、将棋教室の実施。 松明祭りや西砂学習館祭り等での地域との連携、社協との共催での子育てサポート講座。 三世代フェスタ等による多世代交流。	A	さまざまな取り組みにより、地域のボランティア、団体等と幅広い連携を進めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	1,655,483円の削減。	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
指定管理者による運営初年度。日曜開館、利用時間拡大、事業の充実に取り組んだ。地域交流、乳幼児事業、多世代交流、中高生に対する取り組み等、指定管理者制度導入前のレベルを超えて実施している。 地域団体の会議に積極的に参加し、ふれあい松まつりや西砂子どもまつり等地域行事にも参加、児童館では地域交流会を開催し、地域連携に努めている。 社会福祉協議会と共催でシングルマザーカフェや子育てサポート講座を行い、子育て支援に取り組んでいる。 三世代フェスタを実施し地域の方による昔遊びや、老人会ボランティアによる将棋教室など多世代交流に取り組んでいる。 以上のように、新たな事業を実施し、安定的な運営が行われている。		A	指定管理導入前よりも開館日数、時間等を拡大するとともに、新たな事業を展開し、サービスが向上された。 地域とも積極的に関わり、連携を深めている。 トラブル防止には課題もあるが、仕様等の水準には達していると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市松中学童保育所	公募	子ども家庭部 子ども育成課
指定管理者名	指定管理期間	
特定非営利活動法人ワーカーズコープ	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	
事業番号	事業名称	事業担当課
2	松中学童保育所運営管理	子ども家庭部 子ども育成課

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例に基づき、設置目的に沿って運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	毎月2回学童団会議、随時児童館・学童保育所の合同団会議において、設置目的や運営事項を確認している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	学童保育所入所のしおりの配布、入所する前の事前説明会を必ず実施し、使用方法の統一化を計っている。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職、異動に際し、引き継ぎの期間を設け、業務が正常に継続されるよう配慮している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数：243日(日曜日、祝日、年末年始、その他学校に準じて休所) 開館時間：放課後～19時(学校休業日は8時～19時) 職員配置：常勤2～3名、非常勤4～5名 非常勤賃金：時給1,000円	A	利用者数は前年度比微減であった。 基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 児童館と連携しながら、さまざまな企画が行われた。 提案内容については、概ね実施されている。	A
利用状況	【学童保育所利用者】 定員数 70人 延べ利用人数 10,777人(前年度11,572人)	A		
運営企画	工作週間、誕生会、夕涼み会、スポーツ大会、ハロウィンパーティー、クリスマス会、伝承遊び、入所式、卒所式	A		
事業収支 経営状況分析指標	評価対象外(西砂児童館にて評価)	—		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・傷害保険 支払限度額：3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	評価対象外(西砂児童館にて評価)	—		
新たな取り組みの状況	子ども会議、地域交流会 一日体験(希望する保護者による職員体験)	A		
提案の実施状況	食育事業、児童館行事への参加、地域懇談会への参加、乳幼児事業への参加、児童館との連携行事、地域ボランティア活動への参加	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。	A	子どもをはじめ、利用者への対応は、適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルに沿って業務を実施している。 事業計画や利用案内などの情報提供に努め、公平・公正な運営を心掛けている。	A
マニュアルの整備	児童館マニュアル、業務マニュアル、危機管理マニュアル、個人情報保護マニュアル、学童保育所の職務手引書を設置している。	A		
研修・教育の実施状況	内部・外部の研修、会議などへ積極的に参加した。	A		
所管部署との連携・連絡	随時連絡が行われている。 非常時の連絡体制も整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	西砂児童館にて実施。	—		
広報・PR等の利用情報の提供	窓口に入所案内を設置。	A		
事業計画・報告書の公表	年間事業計画を利用者に配布。	A		
公平・公正利用の確保	誰もが同じように利用できるよう心掛けている。	A		
業務の点検	適宜行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	西砂児童館にて実施。	—		
備品管理	備品台帳により管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう、定期的に事業本部が巡回して確認	A	マニュアルに基づき、適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	法人としての研修実施 各現場の事例検討研修実施	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備し、適正に管理している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	8件の事故・苦情があったが適切に対応された。 ・遊び中のけが ・指導の際のけが(児童・職員) ・運営に対する質問、嘆願 等	A	事故、苦情に対しては適切に対応されているが、未然防止にはより一層努められたい。	A
事故の予兆に対する対応	年度当初、登所せずに公園や友人宅で遊んでいた児童がいたが、保護者や学校との連絡を密にし、指導を続けることで改善された。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	・児童が帰宅時間前に帰ってしまった。 ・館庭の木にスズメバチが巣をつくっていた。			
事故防止対策の取り組み状況	事故対応マニュアルや職員会議を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。 学童・児童館合同避難訓練、消防署による救急救命講座の実施を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	西砂青少健と連携し、情報共有している。 社協や子ども家庭支援センターとの連携に努めている。	A	日常的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
子ども主体の運営 幼児事業の拡充	子どもたちの話し合いによる、子ども主体の運営を促進した。 子育て広場でクリスマス会を行うなど、随時幼児事業にも参加した。 児童の希望に応じて子育て広場でお手伝い体験を行っている。	A	児童館と連携し、子どもたち主体の運営を進めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	西砂児童館にて記載。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
指定管理者制度導入直後、対応の不備や説明不足等があり、保護者会にて経緯を説明し謝罪等を行うことがあったが、その後は特に問題なく運営を行っている。		A	年度当初の問題については解決しており、その後は児童館との併設のメリットを生かしながら、良好に運営されている。 指定管理2年目以降は、運営・企画のさらなる充実を期待する。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市斎場	非公募・特命	福祉保健部福祉総務課
指定管理者名	指定管理期間	
公益社団法人 立川市シルバー人材センター	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	斎場使用や料金など斎場設置条例や規則に基づき、適正に管理した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	葬祭事業所長と本部事務局事業係担当者との定期的なミーティングを通じ、理解の浸透に取り組んだ。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	式場及び葬儀日程の予約はすべて先着順とし、公正・公平を期すよう努めた。	A		
事業の継続性の担保	葬祭事業所長の異動には十分な引継ぎ期間を設けるとともに、引継ぎ後もサポートの取れる体制を確保した。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開業日数:365日 開業時間:8:30～20:00 職員配置状況:葬祭事業所長1名、施設管理・市営葬儀従事就業会員14名 賃金単価:嘱託 月額250,000円 会員 時給869円～1,200円	A	事業計画どおり人員を配置している。 賃金単価については、法令等遵守されている。 損害保険等の加入については、シルバー人材センター総合保険に加入している。 収支については、家族葬の増加(葬儀の小規模化)等による収入減や、施設老朽化による保守管理費の増加など、厳しさが増す中、人件費の削減等により、対応を図った。 提案の実施状況については、ホームページの更新状況に不十分な部分があった。	A
利用状況	斎場利用件数:317件(前年度313件) 市営葬儀利用件数:236件(前年度232件) 1階式場:貸出数289回(前年度292回) 2階和室:貸出数196回(前年度231回) 霊安室:貸出数893回(前年度855回)	A		
運営企画	市民マップへの紹介記事を記載(3万枚) シルバー人材センター案内チラシに市営葬儀の案内を掲載(市内全戸配布) 市営葬儀説明会の実施(10月から、月1回) 希望団体への出張市営葬儀説明会の実施(1回)	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:38,536,104円、支出33,901,301円 (うち指定管理料10,620,479円) 事業収支:4,634,803円 人件費比率:76.82% 外部委託費比率:10.00% 利用者あたり管理コスト:106,944円 利用者あたり市負担コスト:33,503円	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	シルバー人材センター総合保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	消防設備保守点検、施設警備、定期清掃、自動ドア保守、冷暖房器具・照明清掃、施設検査、ごみ収集、植木選定・除雪、エアコン・照明設置	A		
新たな取り組みの状況	女性会員の活用 市営葬儀説明会、出張市営葬儀説明会の開催	A		
提案の実施状況	(B評価となった項目) 斎場のサイトの開設・更新・・・費用試算については未掲載。説明会の案内が未更新。	A×2 B×1		

評価の視点及び項目			2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に対応している。アンケート結果でも良好な結果となっている。	A	遺族の立場に立って接客を行っており、アンケート結果も良好である。職員の対応は適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、それに沿って業務を実施している。 利用は申し込みの先着順としており、公平・公正になされている。	A
マニュアルの整備	業務マニュアル「立川市の葬儀」を整備し、これに基づき、適切に対応している。	A		
研修・教育の実施状況	会議やミーティングを通じ、啓発と指導を行っている。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは随時、連絡・調整を行っている。本部事務局担当職員への連絡は、常時可能。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、市に報告している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを発行するとともに、市民マップへの案内記事掲載、及びセンターHPにて周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	シルバー人材センター全体の事業計画・報告書を事務局に備えている。	A		
公平・公正利用の確保	式場予約等、全て先着順としている。	A		
業務の点検	会員との会議や面談にて実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画書・協定書に基づき適切に実施しており、常に衛生的な状態となっている。	A	マニュアル等も整備されており、事業計画書・協定書に基づき、清掃や施設、設備の保守点検が適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。簡易な修繕は、随時対応している。	A
施設及び設備の保守・点検	マニュアル等の整備をし、事業計画書・協定書に基づき適切に実施している。	A		
保安・警備	適切に管理・運営されている。	A		
小規模修繕	霊柩車修繕、障子張替、寝台車修繕、椅子修繕、空調機修繕	A		
備品管理	備品台帳を作成し、常時点検を行っている。斎場に設置している祭壇の日焼けシミ等の汚れが目立ってきている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	葬祭事業所長の指導の下、適切に実施している。	A	個人情報保護要綱を制定し、要綱に沿って適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	法人として、個人情報保護要綱を制定し、業務の執行を徹底している。	A		
適正な管理	一定期間を経過した書類は、本部事務局事業係において管理している。	A		
再委託の禁止	再委託はしていない。	A		
研修・教育の実施	会議やミーティングを通じ、啓発を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護要綱を制定している	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	アンケート回答に「取り扱っている商品(花、返礼品、料理)に魅力がない」というものがあった。	A	施設や備品の老朽化による事故の予兆、ヒヤリハットの状況はあったが、適切に対応された。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	台風接近の中での通夜葬儀の際中、式場内で雨漏りがあり来場者の衣服に若干の水滴がかかる。お詫びをするとともに、応急対策として天井裏に受け皿、式場床面にバケツの設置、エリア内に立ち入らないよう案内板札・パーテーションでの隔離などにより対応。			
具体的にヒヤリ・ハットとした状況	式場椅子の老朽化によるぐらつき。(溶接補修にて対応) 強風時にロータリーに枯枝が落下。(大型剪定にて対応)			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルを整備し、会議・ミーティング・講習会の参加を通じて対応策を指導するとともに、葬祭事業所長を中心にした対応体制を確立している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	施設の性格上、地域に開かれた運営は難しい。	—		—
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし	特になし			—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	指定管理者導入前と比べ、12,016,947円の経費削減となっている。	A	年々、指定管理料削減に努めている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>斎場の利用者数は、安定的に推移しており、市民への周知は行き届いていることが伺える。</p> <p>施設・設備については、老朽化が進んでおり、定期的に点検・修繕を行いながら使用している状況である。</p> <p>利用者アンケートにおいては、スタッフのサービスに関しては、「満足」の回答が90%以上と高い支持を得ている一方、返礼品や生花、料理等の物的サービスについては「不満」と回答している人も4～8%いる等、改善の余地が残されている。</p> <p>25年度の新たな試みとして、「市営葬儀説明会」を毎月行い、民間葬儀社と同等の葬儀を安価に行うことができる市営葬儀のメリットを積極的にPRしている。</p> <p>25年度の傾向として、葬儀を家族のみで行う家族葬の割合が増加しており、葬祭関連商品取扱手数料収入が減少し、運営に影響を及ぼしているが、人件費および諸経費の削減も進める等、効率的な運営を目指す努力も継続的に行っている。</p>		A	<p>事業全般にわたり、実施計画等に基づき、適正になされている。</p> <p>新たに毎月の市営葬儀説明会や出張説明会を実施するなど、利用者拡大に向けた努力も行われている。</p> <p>良好に管理・運営されていると判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市総合福祉センター	非公募・特命	福祉保健部障害福祉課
指定管理者名	指定管理期間	
立川市社会福祉協議会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	計画や設置目的に沿って、適切に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理部門係内での定期的な会議等で、基本的な事項を理解を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	館の利用目的に合わせて公平・公正に利用できるよう、申込み開始時期を設定した。	A		
事業の継続性の担保	専任職員以外にも、兼任の職員を置き、業務の共有を行い、事業の継続性を担保した。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況				
基本的事項	<p>【センター管理業務】 開所日数:294日 開所時間:8:30~19:00 専任職員1名、臨時職員 時給870円</p> <p>【身体・知的障害者デイサービス事業】 開所日数:245日 開所時間:9:00~15:30 正規3名、嘱託10名 非常勤17名:時給955円</p> <p>【高齢者デイサービス事業】 開所日数:294日 開所時間:9:15~16:30 正規1名、嘱託3名 非常勤20名:時給985円</p>	S×2 A×12 B×1		
利用状況	<p>【センター管理業務】 延べ利用者数25,849名(前年度:32,643名)</p> <p>【知的障害者デイルーム】 延べ利用者数:5,196名(前年度4,828名)</p> <p>【身体障害者デイルーム】 延べ利用者数:4,752名(前年度4,610名)</p> <p>【高齢者デイサービス】 延べ利用者数:11,045名(前年度10,803名)</p>	A	基本的事項については、計画通り実施された。	
運営企画	<p>【知的障害者デイルーム】 理学療法、作業療法、言語訓練、音楽療法、調理・お菓子作り、臨床美術、1日外出、健康相談、健康診断、避難訓練、家族懇談会</p> <p>【身体障害者デイルーム】 理学療法、作業療法、プール活動、調理活動・お菓子作り、足浴、一日外出、音楽活動、避難訓練、レクリエーション、臨床美術、季節行事、健康相談、健康診断、家族懇談会</p> <p>【高齢者デイサービス】 体操、書道、音楽、言語療法、作品展、紅葉狩り、クリスマス会、忘年会</p>	A	給与単価については、法令等遵守されている。	A
事業収支 経営状況分析指標	<p>【センター管理業務】 収入:67,983,661円(指定管理料+利息) 支出:70,408,764円 事業収支:-2,425,103円</p> <p>【身体・知的障害者デイサービス事業】 収入:159,395,337円、支出:153,270,161円 事業収支:6,125,176円</p> <p>【高齢者デイサービス事業】 収入:65,749,818円、支出:62,152,998円 事業収支:3,596,820円</p>	A	災害時に施設が担う役割の重さに鑑み、新たな取り組みとして、施設機能の早期回復のためのBCP素案を作成し、図上訓練を行った。	
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	介護保険・社会福祉事業者総合保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	警備業務、自家用電気工作物保安管理、消防用設備保守点検、発電設備保守点検、エレベーター保守点検、空調設備保守、自動ドア保守点検、日常清掃、定期清掃、送水管防食装置定期保守点検、中央監視盤保守点検、給排水設備清掃、衛生設備保守点検及び給湯ボイラー設備保守運転、プール運営、プール可動式床システム保守点検、建築設備定期検査、運営一般管理、送迎運行、介護請求システム保守ほか	A		
新たな取り組みの状況	災害対策として全館避難訓練を年1回実施したほか、BCPを作成し、頭上訓練を行った。	S		
提案の実施状況	小学校の総合学習の時間を利用した、総合福祉センター見学による福祉学習の推進	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	接客マニュアルに基づき、適切に対応している。	A	接客に関しては、良好に行われている。 各種法令を遵守するとともに、関係組織に加盟し研修等に参加している。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を公表している。 施設利用についての広報・情報提供は行われていないため、早期に対応されたい。	A
マニュアルの整備	接客マニュアル、電話受付マニュアル、出退勤時館内点検・手順マニュアルを整備し、適切に対応している。	A		
研修・教育の実施状況	年に3回研修を行っている。	A		
所管部署との連携・連絡	定期的な報告のほか連絡・調整を月に数回行っている。また、非常時等は、ただちに市へ連絡する体制が取られている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回実施し、公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設概要の分かるパンフレットの発行はしていない。HPIによる案内も実施していない。	A×1 B×2		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を公表している。	A		
公平・公正利用の確保	利用申し込み日を定めることで、公平・公正に利用できるようにしている	A		
業務の点検	常に点検している	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている	A	施設が老朽化しているものの、清掃や施設・設備の保守点検は、事業計画書・協定書に基づき、適切に実施されている。 平成24年度より、施設管理業務も指定管理業務に含めたことで、迅速に修繕が行われるようになった。簡易な修繕は、随時対応している。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画、協定書等に基づき適切に実施されている	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	プール用ろ過ポンプ交換、クーラー修理、ろ過装置交換、エアコン3台、ボイラーVベルト交換、電気錠システム機器交換、洗面水栓・自動火災報知設備等修繕、防排煙設備・泡消火設備・誘導灯設備ほか	A		
備品管理	備品台帳を作成し、常時点検を行っている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	立川市社会福祉協議会個人情報保護規程により実施。	A	立川市社会福祉協議会個人情報保護規程を制定し適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	適切に実施している。	A		
適正な管理	適切に実施している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	職員会議等の場において、立川市社会福祉協議会個人情報保護規程を周知している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	立川市社会福祉協議会個人情報保護規程により実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由・状況等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	職員が介助中に殴られる、蹴られる、噛まれる等の事案が数件あった。 また、送迎車両の軽微な自損事故も数回起こった。	A	ヒヤリ・ハット報告書を職員間で閲覧し共有している。 災害発生時や事故発生時に備え、避難訓練を定期的に行い、体制を構築している。	A
事故の予兆に対する対応	「ヒヤリ・ハット報告書」にて決裁を受け、職員間で閲覧し共有している。			
具体的にヒヤリ・ハットとした状況	11件の事例があった。職員間で共有化し、事故を未然に防ぐ取り組みに生かしている。			
事故防止対策の取り組み状況	立川市社会福祉協議会職員参集マニュアル及び災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを定めている。 避難訓練については、全館で年1回実施。生活介護支援事業所にて月1回実施、高齢者デイサービスでは年数回実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	立川市社会福祉協議会として、地域での懇談会などを実施し、情報交換を行っている。 ボランティア相談の窓口を設置し、総合福祉センターのみならず、市内全域の活動を推進している。	A	積極的に福祉体験やボランティアの受け入れなどを行っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし	特になし。			—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	【施設管理経費】 平成23年度決算との比較で4,707千円の削減 (平成23年度決算額+人件費-平成25年度指定管理料)		導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由・状況等	2次評価
◆ 総合評価				
法令等を遵守し、実施計画に基づき管理・運営が行われている。 計画のとおり事業を実施できている。 職員の接客・電話対応等の扱いは良い。 屋内外の様々なイベントや健康相談・診断等の企画運営のメニューが豊富である。 利用者からのアンケート調査やセルフモニタリングなど事業の点検を実施している。 各種マニュアル等が整備されていて、それに基づき事業を実施している。 地域への参加やボランティアの受け入れなどで地域や関係機関との連携を図っている。 利用者の安全性確保や安心利用を含め、効率的、効果的な管理運営がなされている。		A	平成24年度より新たに施設管理業務が加わったが、法令等を遵守し、事業計画に基づき、適切に行われている。仕様書等に定められた水準に達している。 利用者ニーズ等により多くの運営企画が実施されている。積極的に福祉体験やボランティアの受け入れなどに、取り組んでいる。 管理運営は適切になされたかと判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柏地域福祉サービスセンター	非公募・特命	福祉保健部介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 至誠学舎立川	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	立川市との基本協定に基づき設置目的に沿った通所介護事業の管理運営のために、年度事業計画を作成し、実施している。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	指定管理者としての業務内容を年度事業計画に明記した上で、日々の業務連絡会や朝礼等において職員に対し説明を実施している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法・関連法令を遵守した人員・運営基準に則り運営している。具体的なサービス提供に当っては介護支援専門員の作成する「居宅サービス計画」に基づき「通所介護計画」を作成し、利用者の同意の上でサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	職員の中に新たに介護福祉士資格取得者が増え、専門性の継続性は向上している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数：一般 294日 認知症対応型 308日 営業時間：8:30～17:30(認知症9:30～16:45) 職員配置：26人(正規4人、臨時22人) 時給：介護 870～1,020円 看護 1,370～1,670円 療法士 2,020円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 認知症対応型については、職員を1名増員し、サービス提供時間を1時間15分延長して実施しており、利用者サービス向上に努めている。 利用者数は微減であったが、これはサービス提供が多様化する中で、利用者が他の事業所に分散したためと考えられる。 賃金単価については、法令等遵守されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みも行われている。	A
利用状況	一般型通所介護：6,415人(前年度6,902人) 認知症通所介護：2,813人(前年度2,903人)	A		
運営企画	春のお出かけ、夏祭り、長寿お祝い会、初詣、豆まき交流会、作品展示会	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入：95,187,771円、支出：91,744,691円 事業収支：3,443,080円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率：66.2%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額：1.5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保安管理業務、空調設備及び給湯設備保守点検、消防設備保守点検、床・窓ガラス清掃、機械警備、自動ドア保守点検、入浴用リフト保守点検	A		
新たな取り組みの状況	特になし	—		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	「ホームの手引き」に基づき適切に対応している。利用者アンケートでは、センターの「良い点・満足できる点」として約半数が職員の対応を選択。	A	業務マニュアルを設置して適切に実施されている。 毎日業務終了後、自己点検票にて業務点検を行っている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を利用者・家族へ発行している「柏だより」にて公表している。	A
マニュアルの整備	ルーチン業務マニュアル、相談員業務マニュアル、配膳マニュアル、服薬手順マニュアル、感染予防対策マニュアル、送迎マニュアルなどを整備。また、日々の連絡会でこれらを確認している。	A		
研修・教育の実施状況	事業所・至誠ホームの年度研修計画に則り実施	A		
所管部署との連携・連絡	毎月の施設利用についての報告、設備関係の保守等について相談・調整を実施。非常時・事故等の連絡体制は、取り扱い要綱に基づき実施。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回アンケートを実施し、結果を利用者・家族へ発行している「柏だより」にて報告している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	利用者用・ケアマネジャー用のパンフレットを作成し、見学時等に渡している。HPでも公表。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を閲覧用として施設内に設置している。	A		
公平・公正利用の確保	介護保険法を遵守し、公平・公正にサービスを提供している	A		
業務の点検	毎日業務終了後、自己点検票にて行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒を行っている。環境美化担当職員を定めている。	A	感染予防マニュアルにより清潔・不潔エリアを定め日々の清掃業務の中で消毒を行っている。 小規模修繕について、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	年度計画・マニュアルを整備・実施して、危険箇所の速やかな発見に努めている。	A		
保安・警備	鍵の保管箱を設置している。夜間は、職員不在のため機械警備を外部へ委託している。	A		
小規模修繕	エアコン更新、ドアノブ交換、タイル貼り替え、流し台排水管工事、カーテンレール設置、高圧洗浄等下水工事一式、排煙窓修理、設備修繕等	A		
備品管理	備品台帳を作成・管理し、年1回確認作業を実施。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	法人規程「個人情報に関する基本規程第13条」にて対応。	A	年1回の研修会を実施している。 個人情報に関する取り扱いについては、法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応している。	A
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報保護条例」を遵守し、日々の業務を遂行している。	A		
適正な管理	法人規程「個人情報に関する基本規程」「個人情報に関する文書等管理規程」に基づき適正に管理している。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、していない。	A		
研修・教育の実施	年1回研修会を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	法人規程「個人情報に関する基本規程」に基づき対応している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	・便座に座り用便中、床に落ちたポケットの内容物を拾おうとして負傷。 ・方向転換中の送迎車両が他の車に接触・損傷。	A	大きな事故・苦情は特になかった。 「ホームのてびき」「柏センターセクションマニュアル」にて責任者の明確化、連絡・対応体制や取り組みを定めて実施している。	A
事故の予兆に対する対応	連絡会で報告し、要因分析と防止策を検討し実施している。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	2件のヒヤリ・ハットがあったが、事故には至らなかった。 ・歩行介助中の利用者の膝折れ ・入浴介助中、椅子に座り損ね、床に尻餅			
事故防止対策の取り組み状況	「ホームのてびき」「柏センターセクションマニュアル」に基づき、事故防止に取り組んでいる。 年3回の防災訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域包括支援センターとシルバーピアと情報交換を行い意見・要望の収集を行っている。自治会の納涼祭り等に参加するとともに、福祉用具の貸し出しを行っている。	A	地域の自治会・小学校、包括支援センター、シルバーピアとの連携を取っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
				—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前決算額との比較	平成17年度決算額と比較して、4,965,874円の削減。 (現在は、利用料金制を採用)	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
地域の通所介護の拠点として当該施設を指定管理者が管理・運営。 利用者アンケートでは、サービスに満足・まずまず満足と回答している方が95%を超え、サービスの質の高さが評価されている。 また、利用者からの要望が多かったため、認知症対応型の職員を増員し利用時間を延長するなど、ニーズへの対応も適切と評価できる。 施設・整備の維持管理状況については、小規模修繕を計画的に行い施設・設備の維持管理及び利用者の安全に努めている。 安全管理に関する事項については、事故等が発生しているが、事故発生時の対応は迅速で、その後、職員間で共有を図るため要因の分析と対応策を検討し、全職員が事故防止に努めている。 事業収支においても、黒字を維持しており、経営は安定している。 一方で、利用実績が前年実績に比して減少しているため、利用率向上の取り組みが求められる。 以上を総合し、仕様書等で定められた水準に達していると判断し、A評価とする。		A	実施計画に基づき、管理・運営が行われている。 認知症対応型の利用時間の延長など、利用者ニーズに沿った運営に努めている。 業務実績に基づいた研究発表を行い業務向上を目指している。 以上から仕様書等の水準に達していると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣地域福祉サービスセンター	非公募・特命	福祉保健部介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 恵比寿会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	運営方針・規定に基づき、人員配置や施設管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	入社時に施設の説明や地域特性を説明している。職員の意識の統一を図るために、法人で定めた credo(理念)を毎朝復唱し、サービスを提供している。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	新規受け入れを積極的に行い、利用困難といわれる利用者に対してもなるべく受け入れるように検討している。見学も随時受け入れている。	A		
事業の継続性の担保	平成25年度、役割分担し事業内容の検討をミーティングにて抽出し対応できた。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:一般・予防通所介護 257日 認知症通所介護 309日 営業時間:8:30～18:00 (サービス提供時間 9:00～17:00) 職員配置:20名(正規:5名 臨時:15名) 時給870円(障害者雇用での自立訓練対象者) 時給900円～1260円	A	職員配置については、事業計画よりも多く配置している。 賃金単価については、法令等遵守されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みも行われている。 様々な事業を行い、利用者からは好評であった。	A
利用状況	一般・予防通所介護:7,597人(前年度7,873人) 認知症通所介護:2,280人(前年度1,641人)	A		
運営企画	お花見、体力測定会、夏祭り、敬老会、作品展示会、初詣・バスハイク	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:109,442,754円、支出:87,105,492円 事業収支:22,337,262円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:78.95%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	電気設備保守点検、警備設備保守、清掃業務、消防設備点検、貯水槽点検、自動ドア保守、リハビリ機器点検、植栽せん定・除草	A		
新たな取り組みの状況	傾聴ボランティアの導入	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者、来所者への挨拶を徹底している。相手の気持ちを考えた言葉使い、マナー全般においては、概ね好評である。	A	業務マニュアルを設置して適切に実施されている。 接遇等の勉強会・ミーティングを通じ、教育等を意欲的に実施している。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を施設内掲示・ホームページ掲載等により公表している。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適宜見直しながら業務を実施している。	A		
研修・教育の実施状況	部署での勉強会、ミーティング時の教育を実施。法人全体としては学習会を開催。	A		
所管部署との連携・連絡	緊急連絡の体制を整備し、適宜、市と連絡・調整している。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、結果の公表をしている。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	広報紙の発行、施設の概要の分かるパンフレットの設置、HPによる案内の実施。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設内に掲示し、公表している。	A		
公平・公正利用の確保	要介護度や内外部による差別をせず、希望者を順次受け付けている。通常営業に支障のない時間帯に、勉強会・会議等に無償で場所を提供している。	A		
業務の点検	ミーティングにて適宜確認、点検、改善に取り組んでいる。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	清掃年間計画に基づき実施している。	A	利用者の安全を第一に施設状況を把握し、適正に管理されている。 小規模修繕について、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	利用者の安全を第一に施設状況を把握し、設備維持管理計画に基づき実施している。	A		
保安・警備	定位置での鍵の保管及び鍵保持者をチェック表管理している。毎日チェック表で施錠等の保安点検を行っている。	A		
小規模修繕	焼き釜の部品交換、東側階段の補修、浴槽内のタイルのはがれの補修とコーキング	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理している。備品は良好な状態を保持している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報管理体制により各部署責任者を明確化している。	A	市個人情報保護条例を準用し適正に管理するとともに、職員及び関係業者と「個人情報に関する誓約書」を取り交わして、個人情報保護に努めている。	A
個人情報等秘密の保持	「立川市個人情報保護条例」を準用。	A		
適正な管理	「個人情報取り扱い規則」に則った基本方針を周知し、職員及び関係事業者と「個人情報に関する誓約書」を取り交わし適正管理している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	法人学習会を行い、再確認している。また、新人には入社時研修で認知させている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	「個人情報取り扱い規定」の制定及び運用実施。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	4件の事故・苦情があったが、適切に対応された。 ・キャンセル料の誤請求 ・トイレ及び浴室での椅子転倒 ・帰りが予定時間よりも早く到着してしまった	A	事故・苦情については、適切に対応され、解決している。 ヒヤリ・ハットと事例を全職員で共有し、事故防止に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	状況報告書を作成し、課題検討すると共に、全職員で情報共有して事故防止を図っている。 運営会議において周知情報の共有につとめている。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	送迎忘れ・おやつ提供ミスと2件の事例があり、改善策を検討・実施されている。			
事故防止対策の取り組み状況	緊急時マニュアルに基づき緊急連絡体制を確認している。部署内でのミーティングにてケースの検討・改善を行っている。 年2回センター全体での避難誘導訓練、毎月の消防計画に沿った訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	地域住民のボランティアを通じて情報を得たり、民生委員や行事を通じて地域との関わりを持っている。 地域関係機関への寄付や地域文化祭等への参加。小・中学校の体験学習も受け入れている。	A	積極的に地域との連携を図っている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
福祉教育への貢献 地域貢献	介護ボランティア、教職課程の介護体験、小学生の高齢者交流体験、介護職養成学校の実習、地元町会や幼稚園・保育園の見学等を積極的に受け入れた。	A	福祉人材の育成に貢献するとともに、地域との連携を深めた。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	平成17年度決算額と比較して、5,864,784円の削減。 (現在は利用料金制を採用)	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
通所介護、福祉相談センター、地域包括支援センターの3部門を当該施設にて指定管理者が管理・運営。 利用者アンケートでは、サービスに満足・概ね満足と回答している方が90%を超えており、サービスの質の高さが評価されている。 施設・整備の維持管理状況については、小規模修繕は適切におこなわれているものの、それでは対応が難しい屋外施設の雨漏り・エアコン・ポンプ・風呂等の設備機器の不具合も報告されている。 安全管理に関する事項については、事故や事務処理誤りが発生しているが、迅速に対応策を検討し、全職員が事故防止に努めている。 事業収支対計画比は、認知症デイサービス利用者が前年度より延639人増えたことにより、22,337千円の増となっており、経営は安定していると評価できる。 反面、一般デイの利用者数が減少しているため、地域のニーズを検討し、今後も同じサービス提供態勢を継続すべきかは検討を要する。 以上を総合的に考慮し、仕様書等で定められた水準に達していると判断し、A評価とする。		A	事業計画に基づき、適正に管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。 新たな取り組みも積極的に行い、サービスの向上に努めている。 以上から、仕様書等で定められた水準に達していると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂地域福祉サービスセンター	非公募・特命	福祉保健部介護保険課
指定管理者名	指定管理期間	
社会福祉法人 桜栄会	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	ほぼ計画通り達成できた。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	スタッフミーティングの度に基本的な事項の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	介護保険法を厳守し、利用者の公平・公正利用の確保に努めた。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職後も新任職員に対しオリエンテーション・研修等を行い業務を継続して行えた。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:一般・予防・認知症通所 256日 営業時間:9:00～18:00 (通所サービス提供9:30～16:00) 職員配置:20人(正規6人、臨時14人) 時給:ケアワーカー900円 介護福祉士950円 看護師1,500円	A	職員配置については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みも行われている。	A
利用状況	一般・予防通所介護:7,494人(前年度7,529人) 認知症通所介護:1,072人(前年度1,065人) 居宅介護支援:1,315人(前年度1,773人)	A		
運営企画	盆踊り、夏祭り、敬老会、落語会、クリスマス会、芸術祭	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:90,520,800円、支出:76,971,654円 事業収支:13,549,146円 (利用料金収入のため、指定管理料はなし) 人件費比率:77.01%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	損害賠償保険 支払限度額:1.5億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	警備設備保守、清掃業務、自家用電気工作物安全管理業務、消防用設備保守点検、空調設備保守点検、受水槽清掃、害虫駆除業務、植木せん定業務	A		
新たな取り組みの状況	正久体操の導入、安全運転会議の導入、送迎車購入、職員の制服導入	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に挨拶・対応等が出来ている。	A	業務マニュアルを設置し、適正に事業実施されている。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を施設に設置して公表している。	A
マニュアルの整備	業務に応じた様々なマニュアルを設置し、業務を実施している。	A		
研修・教育の実施状況	適宜実施している。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署と連絡・調整・連携がされている。 非常時・事故等の連絡体制が整備されている。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回アンケートを実施し、結果を施設に設置して公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットの発行。法人HPへ掲載。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画・報告書を施設に設置して公表している。	A		
公平・公正利用の確保	公平・公正に利用できるシステムが構築されている。 設置目的以外の利用はない。	A		
業務の点検	職員会議、ミーティングで行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画に基づき実施している。	A	事業計画等に基づき、適切に実施している。	A
施設及び設備の保守・点検	適切に実施されている。	A		
保安・警備	適切に実施されている。	A		
小規模修繕	活動室空調ドレーンの水漏れ・清掃、玄関ルーフの排水・水漏れ・ひび割れ、屋内外排水管清掃、駐車場点字ブロック浮き上がり、浴室シャワー水栓水漏れ、浴室入浴用リフト修繕・清掃・グリスアップ	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理している。	A		
		A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報 that 適正に取り扱われるよう管理している。	A	年度初めに研修・教育を実施している。個人情報に関する取り扱いマニュアルに基づき実施している。	A
個人情報等秘密の保持	立川市個人情報保護条例等の規定に基づき、秘密の保持がされている。	A		
適正な管理	適正に管理している。	A		
再委託の禁止	第三者への委託は、していない。	A		
研修・教育の実施	年度初めに研修・教育を実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報の取り扱いに関するマニュアル等が整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	3件の事故・苦情があったが、適切に対応された。 ・送迎中自転車に乗った女兒と接触事故。 ・昼食後に内服するべき薬の与え忘れ。 ・欠席連絡のあった利用者を迎えに行った。	A		
事故の予兆に対する対応	朝夕のミーティングでの伝達、注意喚起、対応の徹底を行う。 原因・状況を調べ、職員ミーティングで対応策等を話し合い、事故防止に努めている。		ヒヤリ・ハットと事例を朝夕のミーティングで伝達、注意喚起を行うとともに、原因・状況を調べ対応策等を話し合い、事故防止に努めている。	A
具体的にヒヤリ・ハットした状況	3件の事例があり、改善策を検討実施されている。 ・送迎時、リフト用扉から利用者が乗車。 ・音楽活動時、手首まで通した鈴が抜けなくなる。 ・入浴時、補聴器をはずし忘れる。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルの作成、研修の実施、立川・国立地区高齢者救急業務連絡会への参加など。 年2回避難訓練を実施。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	各行事へのお誘いや交流に努めている。 地域への車椅子の貸出しや施設周辺の清掃・雪かきなども行った。	A	地域への溶け込み、連携に努めている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
				—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	平成17年度決算額と比較して、4,284,029円の削減。 (現在は利用料金制を採用)	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>通所介護、居宅介護支援、福祉相談センターの3部門を当該施設にて指定管理者が管理・運営。</p> <p>利用者アンケートの実施結果では、サービスに満足・まずまず満足と回答している方が80%、サービス内容では行事等、プログラム、職員の勤務態度などで8割以上の利用者、家族から評価を得ており、サービスの質の高さが評価されている。</p> <p>施設・整備の維持管理状況については、小規模修繕を計画的に行い利用者の安全に努めている。</p> <p>安全管理に関する事項については、幸い後遺症は残らなかったが、送迎時に交通事故が発生している。事故後は安全運転会議を導入し再発防止に努めている。その他の事故についても対応は迅速で、対応策を検討し、全職員が事故防止に努めている。</p> <p>事業収支対計画比は10,087千円の増となっている。これは居宅介護事業所の職員の態勢の変更と経費減によるもので、経営は安定していると評価できる。</p> <p>一方で、居宅介護事業所の職員の体制の変更(1名減員)にともない居宅介護支援事業の実績は減少している。地域のニーズを考慮して今後も同じ体制を継続するかは検討を要する。</p> <p>以上を総合し、仕様書等の水準に達していると判断し、A評価とする。</p>		A	<p>施設・整備の維持管理状況については、利用者の安全を第一に定期的に館内外の巡回を行うなど、施設状況の把握に努めている。</p> <p>交通事故については再発防止に努められたい。</p> <p>総合的には仕様書等に定められた水準に達しており、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第1ブロック)	公募	都市整備部 交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
日本環境マネジメント 株式会社	平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	条例及び仕様に基づいて適切に実施した。	A	概ね施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解している	採用時及び随時、研修・指導を実施。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者からの要望などあれば、業務に反映するよう職場協力体制を築いている。	A		
事業の継続性の担保	職員の退職等に伴う交替時には、新しく業務を行う職員に事前にOJT教育を実施、業務開始時より混乱が生じない体制で業務にあたっている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 職員数:36人 臨時職員賃金 時給869円	A	基本的事項については、概ね事業計画どおり実施されている。	A
利用状況	【定期利用】 立川駅北口第一:自転車53.5%(前年度47.5%) 立川駅北口第三:自転車116.1%(前年度101.5%) バイク104.3% 西地下道:自転車70.9%(前年度66.9%) 立川駅北口臨時:自転車96.5%(前年度79.4%) 西国立駅第一:自転車30.1%(前年度27.5%) 西国立駅第二:自転車22.2%(前年度17.3%) バイク28.6%(前年度28.6%) 西国立駅第三:自転車57.7%(前年度70.8%) 【一時利用】 立川駅北口第一:自転車51.0%(前年度55.2%) 立川駅北口第三:自転車104.6%(前年度97.5%) バイク85.4%(前年度135.4%) 西地下道:自転車38.0%(前年度46.7%) 立川駅北口臨時:自転車58.2%(前年度47.1%) 西国立駅第二:自転車54.1%(前年度52.5%) バイク57.1%(前年度42.9%) 西国立駅第三:自転車185.5%(前年度177.6%)	A		
運営企画	民間商業施設(イベント時の誘致)への協力	A		
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:52,600,000 支出:51,680,371円 事業収支:919,629円 人件費比率:82.7% 使用料収入 97,913,900円(前年度85,375,000円)	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	施設賠償保険・賠償責任保険・運送保険 支払限度額:3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(2)業務の履行状況(次ページからの続き)				
第三者への委託状況	ベルトコンベア保守点検、防火対象物定期点検、ホームページ作成、浄化槽清掃、警備業務	A	現場での利用ニーズに応じて、概ね適切に実施されている。	A
新たな取り組みの状況	該当なし			
提案の実施状況	統括責任者を中心とした管理の実施、各種研修の実施。 タオルの常備、自動空気入れ・サドルカバーの設置。	A		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	一部職員の態度が高圧的だとの苦情が時々寄せられた。	A×4 B×1	概ね適切に行われた。 接客については、前年度からの改善は見られたものの、一部職員の対応に対する苦情が寄せられた。	A
マニュアルの整備	マニュアルに基づき、適切に実施された。	A		
研修・教育の実施状況	仕様書にあるとおり、概ね適切に実施された。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月、交通対策課と指定管理者3社と業務調整会議を実施し、苦情対応、修繕、改善策について共有した。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、いつでも見られる状態で管理されていた。	A		
公平・公正利用の確保	女性、高齢者、身体的弱者などに配慮し、公平な運営が行われた。	A		
業務の点検	仕様書のとおり、適正に実施した。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施した。	A	仕様書どおり、適切に管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
保安・警備	巡回、場内監視など仕様書のとおり適切に実施した。	A		
小規模修繕	—			
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理した	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報マニュアルに基づき、適切に実施された。	A	個人情報保護マニュアルを整備し、適切に実施された。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報マニュアルに基づき、徹底された。	A		
適正な管理	事故が発生しないよう本社担当者及び責任者にて厳しく管理し、適正に措置された。	A		
再委託の禁止	委託発生の可能性がある場合は、事前の協議のもと行なわれた。	A		
研修・教育の実施	入社研修及び随時、教育・指導が実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報マニュアルに基づき、適切に実施された。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	(B評価の項目 6件) ・挨拶、接客の不備 ・回数券利用について、誤った説明をしてしまった。 ・定期利用者用シールの再発行手続きの際に、誤った説明をしてしまった。 ・定期更新の際の手続きについて、説明不足があった。 ・管理人の態度が悪く、説明内容もあいまいであった。 ・定期更新時の説明の誤りと口調の悪さ。	A×7 B×6	後々までの問題になるケースはなかったが、他の駐輪場と比べ、苦情は多めであった。	B
事故の予兆に対する対応	特になし。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし。			
事故防止対策の取り組み状況	管理物件全般に関わる事故の状況や対応の資料を社内報「つもう」にて随時、周知している。自社内での訓練や教育も実施している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	立川警察署と連携し場内巡回をお願いしたり、シルバー人材センターと情報交換している。	A	関係団体との連携により、地域の環境確保が図られている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	特に問題無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし。				—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	平成17年度決算額と比較して、2,524千円の削減。	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>利用者が多いブロックということもあるが、やや苦情が多いと感じられた。苦情の原因は主に接遇面や事務処理に関することであるが、管理員に対する教育・指導を担当するエリアマネージャーを配置してからは、各現場の巡回、実地指導が効果を上げ、全般的に改善が見られた。よってA評価としたい。</p>		A	<p>24年度は、主に職員の対応に課題があり、B評価となったが、改善に努めたことが伺われ、成果も認められた。一部に課題は残ったものの、全体的には概ね仕様書の水準通りに運営されたと判断し、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第2ブロック)	公募	都市整備部 交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
都市環境整備 株式会社	平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	計画書通り、適正に管理運営を遂行した	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	本社の管理職が月度部会等にて、問題点を検証し指導・助言を行った。現場班長も随時、管理員へ指導を行った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	利用者の公平利用に努めた。武蔵砂川駅第1の一時利用満車時は、第2への誘導を行った。西立川では定期利用の空きスペースに収容した。	A		
事業の継続性の担保	経験豊富で人望のある職員を班長・副班長とし、指導を行っている。新人職員研修は班長・副班長が半月マンツーマンで行っている。以降も困難な点は班長や先輩職員がサポートしている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 職員数:16人 臨時職員賃金 時給 870円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 提案の項目は、全て実施されている。	A
利用状況	【定期利用】 武蔵砂川駅第一:自転車98.1%(前年度98.0%) バイク37.2%(前年度37.2%) 武蔵砂川駅第二:自転車62.3%(前年度62.1%) バイク117.4%(前年度104.3%) 西立川駅:自転車68.9%(前年度67.9%) 【一時利用】 武蔵砂川駅第一:自転車512.3%(前年度521.5%) バイク70.0%(前年度70.0%) 武蔵砂川駅第二:自転車57.6%(前年度53.0%) バイク116.7%(前年度85.0%) 西立川駅:自転車97.1%(前年度101.0%)	A		
運営企画	放置自転車への警告札貼付、街頭啓発活動(放置禁止区域の説明など)、アンケートの実施	A		
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:23,667,000円 支出:23,667,000円 事業収支:0円 人件費比率:86.3% 使用料収入 40,884,800円(前年度40,635,800円)	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	該当なし			
新たな取り組みの状況	砂川第1・2の夏期における羽虫対策(街灯に虫除け剤を貼付)	A		
提案の実施状況	虫ゴム交換・空気入れ・簡易スタンドの貸出し等、ご意見箱の設置、誘導案内板の設置、定期利用者への領収書の発行、不正利用対策、節電対策、転倒防止対策など	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	制服及び名札を着用し、挨拶を毎日する事により親しみが増し、対応が丁寧になり、苦情が少なくなった。	A	業務基本マニュアルを整備し、適切に業務を行った。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を接遇の参考にした。 営業管理部の管理職が現地訪問により点検を実施するなど、事業者としての取り組みが見られた。	A
マニュアルの整備	自転車駐車場管理員業務マニュアルに基づき、適切に業務を行った。	A		
研修・教育の実施状況	班長によるOJT研修と本社責任者による指導、専門講師による現場対応の研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月、交通対策課と指定管理者3社との業務調整会議を実施し、苦情対応、修繕、改善策を共有した。	A		
利用者アンケート等の実施	ご意見箱の常設及びアンケート調査を年1回実施し、結果を管理棟に掲示した。	A		
公平・公正利用の確保	定期の更新期間に募集台数を表示するなど公平性につとめた。また、場内巡視により無断駐車、料金未納、定期切れなどの対応を行うなどして、公平・公正利用の確保に努めた。	A		
業務の点検	営業管理部の管理職が現地訪問により点検を実施した。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	仕様書のとおり適切に実施した。	A	仕様書どおり、適切に管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	仕様書のとおり適切に実施した。	A		
保安・警備	場内・外について、巡視を徹底した。	A		
小規模修繕	西立川駅駐輪場管理棟内のブラインド交換	A		
備品管理	帳票を作成し、良好に保管されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	本社営業管理部長や現場班長が随時、管理員に指導、助言を行った。	A	個人情報保護に関する方針を整備し、適切に実施している。	A
個人情報等秘密の保持	現場の部会等で本社の管理職が執行状態を確認し、情報が保持に努めた。	A		
適正な管理	始業時、終業時に台帳No.等を確認。部会において本社の管理職が点検した。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	本社営業管理部長が随時、管理員に指導、助言を行った。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護方針を規定している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	3件の苦情があった。 ・新規の市外定期受付時、「市外の方はあっちです」と指示し、不公平感を与えてしまった。 ・朝停めた所に自転車がなかったが、管理員と一緒に捜してくれなかった。 ・立木とワイヤー施設した自転車に「次回から鍵を切断する」と注意札が貼られ恐怖を感じた。	A×2 B×1	若干の苦情はあったが、後にトラブルになることはなく、概ね適切に対応された。	A
事故の予兆に対する対応	2月、降雪予報に対し、スコップ・融雪剤の用意と除雪作業員の配置をした。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	2月降雪時の凍結によるスリップの危険			
事故防止対策の取り組み状況	業務マニュアルに基づき事故防止に取り組んだ。 本社管理職によるOJT研修を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	駅前の清掃や放置自転車等に対する日々の警告札貼付等により、地域貢献に取り組んだ。	A	駅前の環境浄化に取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	特に問題なし	A	特に問題なし	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし				—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	平成17年度決算額と比較して、指定管理期間5年間で2,849,000円の削減。	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
苦情等もあるものの、その対応や再発防止策については迅速かつ的確に行われた。 仕様書等に定められている管理運営の水準は達成できているものと考えられるので、A評価としたい。		A	管理運営は概ね適切に行われており、新たな取り組みも行った。法令等を遵守し、仕様書等の水準に達していると判断し、A評価とする。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(第3ブロック)	公募	都市整備部 交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
一般社団法人日本駐車場工学研究会	平成23年4月1日～平成26年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営された。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	研修マニュアルに基づく教育・研修を実施した。また、定期的に班長会議を開き各職員に管理上の基本事項について共通認識を持たせた。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	場内で不正駐車している無許可の自転車等への警告札を取り付けにより、違法駐車排除を行った。	A		
事業の継続性の担保	新人研修では、班長又は経験の長い職員を同時配置させ、2週間程度の実施研修を行った。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 職員数:29人 臨時職員賃金 時給870円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 提案項目については、全て実施されている。 提案事項の自動ゲート化及び定期券の磁気カード化は、利用者の利便性向上に大きく貢献しており、高く評価できる。 他の駐輪場より人件費率が低いのは、機械式のものが多いためである。	A
利用状況	【定期利用】 南口立体:自転車74.2%(前年度80.0%) 南口第一:自転車99.4%(前年度99.5%) 南口第二:自転車99.0%(前年度99.3%) 南口第三:自転車94.2%(前年度96.1%) 南口第四:自転車98.0%(前年度100.3%) 南口第一タワー:自転車26.8%(前年度31.8%) 南口第二タワー:自転車73.2%(前年度79.9%) 【一時利用】 南口立体:自転車68.8%(前年度67.4%) 南口第二:自転車119.4%(前年度117.5%) バイク89.4%(前年度89.0%) 南口第一タワー:自転車12.3%(前年度12.4%) 南口第二タワー:自転車38.1%(前年度40.8%)	A		
運営企画	サイクルシェアリングの普及促進	A		
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:69,800,000円 支出:69,800,000円 収支:±0円 人件費比率:61.12% 使用料収入 69,434,700円(前年度69,888,200円)	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険・動産総合保険 支払限度額:2億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	タワー定期点検、定期専用ゲート及び自動定期更新機保守点検、消防設備点検	A		
新たな取り組みの状況	特になし			
提案の実施状況	S評価・・・自動ゲート化、定期券の磁気カード化 A評価・・・収容台数以上の定期券の発行、利用者アンケートの実施、傘・カッパ等の貸出、サイクルシェアリング	S×2 A×4		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	統括指導者が直接指導するなどして、適切に実施した。	A	自転車等駐車場管理マニュアルに基づき、適切に実施した。 本社の統括指導者が直接指導するなどして、職員の対応や業務の点検を行った。	A
マニュアルの整備	自転車等駐車場管理・危機管理マニュアル等に基づき、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	年1回実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	毎月、交通対策課と指定管理者3社との業務調整会議を実施し、苦情対応、修繕、改善策を共有した。	A		
利用者アンケート等の実施	年に1回実施した。	A		
公平・公正利用の確保	無断駐車、料金未納、定期切れなどの対応を行うなどして、公平・公正利用の確保に努めた。	A		
業務の点検	統括責任者や本部担当者が現場のチェックを行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画書、協定書、仕様書のとおり適切に実施した。	A	仕様書などにあるとおり、適切に管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画書、協定書、仕様書のとおり適切に実施した。	A		
保安・警備	事業計画書、協定書、仕様書のとおり適切に実施した。	A		
小規模修繕	特になし			
備品管理	備品台帳を作成し、日常的な点検により、適切に管理した。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報マニュアルに基づき、適切に実施された。	A	個人情報保護マニュアルを整備し、適切に実施された。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づき、徹底された。	A		
適正な管理	個人情報マニュアルに基づき、適切に実施された。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	随時、適切に実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	規定等を整備し、適切に実施された。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	15件の苦情等があった。 (B評価の項目 2件) ・定期利用者を一時利用と勘違いし、駐車スペースがあるにもかかわらず、満車だと答えてしまったため、利用せずに退場された。 ・子どもの定期利用者から、誤って一般料金を徴収しており、後で親から市へ申し出があった。	A×13 B×2	苦情等は15件報告されているが、利用者同士のトラブルなど、指定管理者だけに責を問うのは難しいものも含まれており、対応や再発防止策は概ね適切に行われたと考える。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	危機管理マニュアルに基づいて行っている。通路の安全確保、利用者の誘導、自転車の整理等に努めた。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	投書箱や口頭にて、ご意見・ご要望の収集・把握を行っている。挨拶の励行や近隣の路上清掃を毎日実施するなど、親しみやすい雰囲気作りを行った。	A	地域貢献への取り組みがなされた。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	特に問題となる項目なし	A	特に問題となる項目なし	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
				—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	新規の施設があることや機器導入をしたため、比較は困難である。	—		—
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
苦情等もあるものの、その対応や再発防止策については迅速かつ的確に行われた。 仕様書等に定められている管理運営の水準は達成できているものと考えられるので、A評価としたい。		A	概ね管理運営は適切に行われており、提案された事項は着実に実施している。苦情等も見受けられたが、その対応や再発防止策についても迅速かつ確実に行われており、仕様書等の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市有料自転車等駐車場(西武立川)	非公募・特命	都市整備部 交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
都市環境整備 株式会社	平成23年4月1日～平成26年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	計画書通り、適正に管理運営を遂行した。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営された。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	本社部長や課長が月2回視察して、問題点を検証し指導・助言を行った。現場班長も随時、管理員へ指導を行った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	定期契約に空きが出来た時は、抽選で利用者を決定した。場内の非契約車や一時利用の自転車に対し警告札を貼付し公平・公正な利用に努めた。	A		
事業の継続性の担保	経験豊富で人望のある職員を班長に任命し、指導を行った。新人職員研修の際は班長が半月マンツーマンで働き指導した。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 職員数:5人 臨時職員賃金 時給870円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 提案項目についても全て実施されている。	A
利用状況	【定期利用】 自転車98.3%(前年度97.3%) 【一時利用】 自転車157.0%(前年度146.0%)	A		
運営企画	放置自転車への警告札貼付 アンケートの実施	A		
事業収支 経営状況分析指標	指定管理料:9,487,800円 支出:8,910,084円 事業収支:577,716円 人件費比率:76.1% 使用料収入 9,848,600円(前年度13,556,900円)	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	該当なし			
新たな取り組みの状況	利用者の利便性向上のため、回数券の販売を開始した	A		
提案の実施状況	場内への花飾り、虫ゴム交換・空気入れ等の貸出し、ご意見箱の設置、放置抑制のため警告札の貼付を実施、定期利用者への領収書発行、未払い利用者のリスト作成・督促、節電対策、防犯対策、転倒防止対策など	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	挨拶を毎日する事により親しみが増し、対応が丁寧になり、苦情が少なくなった	A	業務基本マニュアルを整備し、適切に業務を行った。 利用者アンケートを年1回実施し、結果を接遇の参考にし、改善に取り組んだ。 営業管理部の管理職が現地訪問により点検を実施するなど、事業者としての取り組みが見られた。	A
マニュアルの整備	自転車駐車場管理員業務マニュアルに基づき、適切に業務を行った。	A		
研修・教育の実施状況	班長によるOJT研修と本社部長・課長による現地での指導を行った。また専門講師による現場対応の研修を合同で実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月、交通対策課と指定管理者3社との業務調整会議を実施し、苦情対応、修繕、改善策を共有した。	A		
利用者アンケート等の実施	ご意見箱の常設及びアンケート調査を年1回実施し、結果を管理棟に掲示した。	A		
公平・公正利用の確保	定期の更新期間に募集台数を表示するなど公平性の確保に努めた。	A		
業務の点検	本社部長・課長が現地訪問により点検を実施した。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	施設内、外共に点検し、清掃を行った。	A	仕様書どおり、適切に管理された。	A
施設及び設備の保守・点検	業務マニュアルに基づき、適切に業務を行った。	A		
保安・警備	業務マニュアルに基づき、適切に業務を行った。	A		
小規模修繕	街灯の修繕	A		
備品管理	帳票を作成し、良好に保管されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	本社営業管理部長や現場班長が随時、管理員に指導、助言を行った。	A	個人情報保護に関する方針を整備し、適切に実施した。	A
個人情報等秘密の保持	現場の部会等で本社の管理職が執行状態を確認し、情報が保持されていた。	A		
適正な管理	始業時、終業時に目視により、台帳No.等を確認。随時本社部長が点検を行った。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	本社営業管理部長が随時、管理員に指導、助言を行った。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報保護方針を規定している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし。	A	特に苦情や事故はなかった。	A
事故の予兆に対する対応	2月、降雪予報に対し、スコップ・融雪剤の用意と除雪作業員の配置をした。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	2月降雪時の凍結化によるスリップの危険			
事故防止対策の取り組み状況	業務マニュアルに基づき事故防止に取り組んだ。本社管理職によるOJT研修を実施した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	自治会等の防犯相談、近隣住民から放置自転車問題の聞き取り、駅前の清掃等を行った。	A	地域との連携に取り組んだ。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし				—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	開設当初から指定管理のため、比較不可。	—		—
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
仕様書等に定められている管理運営の水準は達成できているものとし、A評価とする。		A	管理運営は適切に運営されており、新たな取り組みも行っている。法令等を遵守し、仕様書等の水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市営駐車場	公募	都市整備部 交通対策課
指定管理者名	指定管理期間	
タイムズ24株式会社	平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	計画書のとおり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	報告書等にて情報の共有化を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	公平性を確保していた。	A		
事業の継続性の担保	安定的に行った。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	営業日数:365日 営業時間:24時間利用 契約社員 平均時給1,680円 合計12名	A		
利用状況(利用台数)	【時間貸】合計338,735台(前年度比97%) 北口第一:255,857台、対前年度比96% 緑川第四:32,866台、対前年度比109% 緑川第五:17,209台、対前年度比95% 緑川第六:8,196台、対前年度比109% 南口第一立体:6,453台、対前年度比87% 南口第二立体:18,154台、対前年度比90% 【定期利用】合計1,975台(前年度比95%) 北口第一:663台、対前年度比89% 緑川第六:1,056台、対前年度比101% 緑川第七:174台、対前年度比98% 南口第一立体:34台、対前年度比55% 南口第二立体:48台、対前年度比100%	A		
利用状況(利用料金)	【時間貸】合計208,786,350円(前年度比97%) 北口第一:161,074,700円、対前年度97% 緑川第四:18,711,200円、対前年度103% 緑川第五:10,962,850円、対前年度90% 緑川第六:5,340,500円、対前年度111% 南口第一立体:4,779,800円、対前年度81% 南口第二立体:7,917,300円、対前年度94% 【定期利用】合計35,116,100円(前年度91%) 北口第一:19,108,000円、対前年度91% 緑川第六:11,735,600円、対前年度95% 緑川第七:2,412,500円、対前年度91% 南口第一立体:825,000円、対前年度56% 南口第二立体:1,035,000円、対前年度94% 【証紙収入】1,246,400円、対前年度83% 【磁気サービス券】20,264,050円、対前年度90%	A	概ね提案項目も含め、計画どおり実施された。 賃金単価については、法令等遵守されている。 利用実績は、前年度と比べ約3%の減となったが、周辺駐車場の増やそれによる料金競争、大雪被害といったマイナス要因を考慮するとやむを得ない範囲と考えられる。超過収益分も含め、納付金は確保されている。	A
運営企画	ITを駆使した駐車場運営(オンライン化)、鉄道乗車履歴割引(パーク・アンド・ライド)の導入、提携割引店の新規獲得、電気自動車用の充電スタンドの設置	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:265,412,900円、支出:240,261,500円 事業収支:+25,151,400円 人件費比率:27.63% 1台あたり管理コスト:705円 市への納付金(基本納付額+ α)143,608,170円	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	現金盗難保険、自動車管理者責任賠償保険 支払限度額:1億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	有人派遣による管理業務、クレーム・トラブルの一次対応、駐車場管制装置の保守点検、駐車場売上集金業務、設備管理、機械式駐車場設備の保守点検、建物設備管理業務	A		
新たな取り組みの状況	特になし			
提案の実施状況	ITを駆使した駐車場運営(オンライン化)、鉄道乗車履歴割引(パーク・アンド・ライド)の導入、提携割引店の新規獲得、電気自動車用の充電スタンドの実施	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	適切に実施された。	A	仕様書や業務マニュアルに基づき、適切に業務を行った。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルに基づき、適切に実施された。	A		
研修・教育の実施状況	適切に実施された。	A		
所管部署との連携・連絡	適切に実施された。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを発行するとともに、専用HP開設済。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出し、閲覧できる状況である。	A		
公平・公正利用の確保	公正・公平利用できるシステムを構築している。	A		
業務の点検	月1回実施した。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画、仕様書に基づき実施した。	A	適正に実施された。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画、仕様書に基づき実施した。	A		
保安・警備	事業計画書、協定書等のとおり適切に実施した。	A		
小規模修繕	エアコン更新工事、車止め修理2箇所、リフト冷却ファン交換工事、移動式粉末消火設備交換工事、蛍光灯安定期交換工事	A		
備品管理	管理台帳を作成し、備品は破損なく管理されている。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により適切に実施された。	A	社内規定に基づき適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	社内規定に基づいて実施している。(平成18年に日本情報処理開発協会よりプライバシーマーク取得の認定を受ける)	A		
適正な管理	社内規定に基づいて実施している。(平成18年に日本情報処理開発協会よりプライバシーマーク取得の認定を受ける)	A		
再委託の禁止	承諾なしに再委託していない。	A		
研修・教育の実施	社内規定に基づいて実施している。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	社内規定に基づいて実施している。(平成18年に日本情報処理開発協会よりプライバシーマーク取得の認定を受ける)	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	雷落下による精算機フリーズ、照明ブレーカーが落ちる、現地係員へ態度についてのクレームなど3件の事故・苦情があったが、適切な対応がとられた。	A	特に問題なし。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	年3回避難訓練を行った。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	商工会議所、大型店舗、地域住民などと交通渋滞対策について情報交換を行ったり、交通対策モニターリング調査に参加している。	S×1 A×4	渋滞対策について、地域と取り組んでいる。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
特になし				—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	導入前と比較し9,819,416円の削減	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>平成25年度は、従前と同様に多種媒体を使った満空情報・駐車場情報の配信や、前年度については充電スタンドの設置など、市営駐車場のサービス向上が図られた。</p> <p>年度全体では、時間貸しについては、利用台数・利用金額ともに前年度に比べ、減ることになった。これらについては、北口第一駐車場の周辺に120台規模の民間駐車場や最大料金1,000円設定の競合駐車場が出現したことの影響、また2月の雪害の影響もあり、低迷を招いた。また、定期貸しについても南口第一及び第二の他にも全施設で売上減収となった。</p> <p>なお、経営について全体的な収益は、昨年度より減少したが超過収益分を含め納付金が確保された。</p> <p>施設管理では、全体的に仕様書・事業計画の水準を満たしているものと判断する。</p> <p>以上、マイナス要因により減収に及ぶ事態を抱えながらも、超過収益分を含む納付金が確保されたことにより、総合評価としては、A評価とする。</p>		A	<p>業務・施設運営については、適切に行われた。</p> <p>地域とともに渋滞対策に取り組んだ。</p> <p>さまざまなマイナス要因がある中で、納付金は一定程度確保されており、仕様書等の水準に達している。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市ハケ岳山荘	公募	生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社レストラン・ピガール	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	市条例に従って管理と営業に努めた。また、一般の宿泊施設とは違う、立川市の山荘の存在意義を十分に理解して、管理運営にあたった。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	月に1回以上、本社の役員や現地の責任者が指導したり、ミーティングを開き、きめ細かく職員を指導、教育を行った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例等に基づき、公平・公正利用を確保した。	A		
事業の継続性の担保	他店舗職員を派遣し山荘業務を体験させ、山荘職員に緊急事態を起こっても対応できるようにしている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:365日 開館時間:24時間 職員配置:正社員9名、嘱託3名 賃金単価:月給175,000円~354,000円	A		
利用状況	【利用者数】12,552人(前年度12,539人) (内訳) 一般利用者 7,939人(前年度7,885人) 学校利用 3,570人(前年度3,662人) *小学校3,332人、中学校238人 青少年団体 1,003人(前年度927人) 日帰り 40人(前年度65人)	S	週末の台風や大雪でキャンセルが続出した状況で、平成21年度の指定管理導入以降連続で一般利用者を増加させたことは、S評価に値する。 地元出身者を社員として雇用している。	
運営企画	バスツアーの実施(3回)、小学校のハイキングに道案内ガイドを無料提供、フェイスタオル・歯ブラシの提供、送迎、木工教室・お餅つき・星を見る会等のイベント実施	A	繁忙期など、山荘配属の社員で足りないときは、本社や他店舗から応援を出して会社全体で取り組む体制を整えている。	
事業収支 経営状況分析指標	収入:73,640,287円、支出:71,323,683円 内訳 指定管理料:54,014,000円 利用料金収入:11,488,300円(施設使用料) その他事業収入:8,137,987円(食事・売店等) 事業収支:2,316,604円 人件費比率:55.8% 外部委託費比率:10.09% 指定管理料及びその他の収入で適正に事業を行うことができた。	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。賃金単価については、法令等遵守されている。	A
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償保険・旅館施設保険 支払限度額:10億円 協定書の水準を超え、リスク分担を超えても利用者の安全性の維持に努めた。	S×1 A×2	学校利用におけるハイキングの道案内など、新たなサービスを実施し、好評を得ている。一般宿泊者については、フェイスタオルや歯ブラシセットなどのアメニティーを提供している。	
第三者への委託状況	施設保守点検・定期清掃、寝具の補給・リネン、ごみ処理	A		
新たな取り組みの状況	学校ハイキングに対するガイドの無料提供、小学校自炊時の手伝い、近隣観光地への送迎	A		
提案の実施状況	アメニティーの提供、自炊棟の鍋の購入、小学校のハイキング時の道案内ガイドの派遣、閑散期割引、バスツアーの実施、職員共済会の助成券への対応、各種イベントの実施、市内での試食会、市立小学校の移動教室時に24時間体制で待機、ごみの減量化・リサイクル	A	提案事項も着実に実施している。	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	研修、日々のミーティングでチェックし取り組んでおり、97%以上の利用者から良い評価があった。	A	各種マニュアルを整備し、それにそって業務を実施している。施設の性格上、接客には特に力を入れている。 利用者アンケート結果について、食事の満足度が非常に高く、利用者から見た評価は際立っている。 事業計画・報告書の公表も行っている。	A
マニュアルの整備	衛生管理、危機管理マニュアルに基づき対応した	A		
研修・教育の実施状況	各分野の講習を毎月実施した	A		
所管部署との連携・連絡	消防署等関係機関と連絡を行った。非常時の連絡も体制が整えられている。	A		
利用者アンケート等の実施	利用者アンケートを実施し、公表している。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	パンフレットを作成し配布している。ホームページに利用案内や空室情報を掲載している。	A		
事業計画・報告書の公表	市に提出した。	A		
公平・公正利用の確保	条例等をよく理解し、公平利用に努めた。	A		
業務の点検	基本的には月一回行われている	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき適切に実施されている。 小規模修繕についても、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	本館トイレ温便座交換、本館客室畳修理、本館排煙窓チェーン修理、本館給湯用ボイラー修理、シャワー金具修理	A		
備品管理	備品台帳を作成し管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	個人情報が適正に取り扱われるよう、指揮監督している。	A	適切に個人情報が遵守されている。	A
個人情報等秘密の保持	適正に執行している。	A		
適正な管理	鍵のかかる場所に管理している。	A		
再委託の禁止	請け負わせていない。	A		
研修・教育の実施	必要な研修を実施した。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルを整備している。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特に事故はなかった。	A	事故を未然に防ぐ取り組みがなされている。 マニュアルは整備され、対応体制も確立されている。	A
事故の予兆に対する対応	事故等が起きた時は救命救助を第一に考え、日頃より救命訓練等をしている。日々施設の巡回を行い、問題箇所がないかチェックし、速やかに修繕する体制を整えている。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	4月に市のパジェロを運転中シフトレバーが折れ、突然動かなくなった。			
事故防止対策の取り組み状況	マニュアルに基づき、事故防止の取り組みを行った。災害発生時の連絡体制も確立されている。避難訓練を年2回実施しているほか、地域の訓練にも参加している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	清里学校寮地区のリーダー的立場で、地域活動・環境づくりに努めている。	A	地域との関係は良好である。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
表彰	多摩地域の他の市役所の施設を31年管理したことに対し、市長より感謝状が授与された。(平成26年度)	A		A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	9,088,162円の削減。(平成20年度決算との比較)	S	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>平成25年度は、9月、10月は週末や連休に台風が襲い、平成26年2月には、2週末続けて記録的な大雪に見舞われ、多数のキャンセル(計584件)があった。そうした条件下で、平成24年度より一般利用者が増加したことは、指定管理者の尽力によるもので多大な評価に値する。</p> <p>前年に引き続き、小学校のハケ岳自然教室に於けるハイキングの道案内ガイドを配置している。引率の教諭も若手が多く、自然環境での活動に不慣れであることから、ガイドの役割は大変重要となっている。ハイキング中の事故もなく、児童の安全・安心に十分な配慮がなされている。</p> <p>衛生管理面においても、調布市のアナフィラキシーショックによる死亡事故や、浜松市のパンのノロウイルス汚染などの事件を受けて、衛生管理に関する研修、食材仕入れ先の確認、利用者への手洗い等の呼びかけにより、より一層強化が図られた。</p> <p>経年劣化する施設の維持管理に対して、速やかな対応がなされている。日々施設の点検を行い、所管課への連絡も敏速に行われ、限られた予算の中で適切に努めている。</p> <p>利用者アンケートでは、「食事」「施設」「サービス」のすべてにおいて、「非常に良い」「良い」以上の評価が95%以上であり、その評価の高さは、指定管理者による市民サービスの提供として、十二分なものと考えられる。リピーターの利用者が年々増え、着実な一般利用者の増加もみられることから、指定管理者制度の目的である、「民間の活力を利用して、より良い市民サービスの提供」が達成されていると考えられ、理想的な運営と高く評価する。</p>		A	<p>台風や大雪を主な理由として、500件以上のキャンセルが発生する中、前年度以上の一般利用者を確保した。</p> <p>本社の全面的な支援の下、運営は良好に行われている。</p> <p>利用者アンケートの評価も非常に高く、質の高いサービスが提供されていると判断する。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市滝ノ上会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市滝ノ上会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:324日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 55,050円 昼・夜勤務 55,270円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:16,618名(前年度17,534名) 利用件数:1,091件(前年度1,157件) 平均施設使用率:37.4%(前年度38.1%)	A		
運営企画	S評価・・・会館まつり30周年式典、記念誌発行 A評価・・・広報発行、利用者懇談会、新年懇談会、委員研修会・懇談会、ふれあいコンサート	S×2 A×5		
事業収支	収入:3,020,082円、支出:3,020,082円 * 指定管理料2,865,242円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】 適正に執行されている。	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員への対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」・「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会へ参加し、所管課との調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	印刷機修繕 電灯設備修繕 ガス・CO警報機取替修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。災害時における会館の役割や、事故時の対応について、学供代表者連絡会の場を通じて市と協議した。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	2次評価
◆ 総合評価				
<p>滝ノ上会館は、平成25年度に創立30周年を迎えた。地域の住民にとって学習、また趣味や娯楽といった活動の拠点となっており、開館以来、利用者の方々や地域の諸団体と一体となりながら、富士見町の文化を盛り上げてきた。また、会館の活動方針でも「子どもの居場所づくり」を挙げているように、とりわけ地域の子どもの開かれた会館であることを心がけており、会館の事業では子どもが参加しやすい企画を多く実施している。</p> <p>その成果もあり、会館の事業は子どもをはじめ幅広い年代の参加者が集える場として、地域にすっかり定着している。例えば会館まつりでは「滝ノ上音楽会」と題して、地元小中学生による演奏会が催されるほか、ジュニアリーダー等による「子どもの遊び場」企画なども行われている。また、立川市地域文化振興財団との共催で行う「富士見町ふれあいコンサート」では、プロのソプラノ・バリトン歌手のステージを楽しめるだけでなく、地域の中学校吹奏楽部OB有志で結成されたバンドによる演奏会も催されるとあって、子どもから大人まで、大勢の地域住民が来館し賑わう。こうした地域に密着した事業を軸に、会館が世代間を超えた地域住民の交流の場としての役割を果たしている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こんびら橋会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こんびら橋会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:326日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 月給:昼勤務 84,355円 昼・夜勤務 51,930円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:21,985名(前年度17,924名) 利用件数:1,632件(前年度1,302件) 平均施設使用率:46.4%(前年度48.8%)	A		
運営企画	S評価・・・会館まつり、30周年記念式典 A評価・・・広報発行、地域懇談会、講演会、新年賀詞交換会	S×2 A×4		
事業収支	収入:2,905,747円、支出:2,905,747円 *指定管理料2,865,242円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】 適正に執行されている。	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に礼儀正しい挨拶・対応を心掛けた。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	湯沸室換気扇連動装置修繕、ガス漏れ警報器(プロパン)交換修繕、換気扇コンセント配線修繕、ガス漏れ修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>こんぴら橋会館は、砂川地域のコミュニティセンターとして、地域の住民、また各種団体と多面にわたって協力しながら、会館の管理運営を行っている。</p> <p>例えば施設管理の面では、毎年5月連休の休館日を利用して、管理運営委員を中心に、地域のボランティアの力を借りて施設内の整備・清掃を行っている。また、平成24年度から予算化された指定管理料の修繕費を活用した軽修繕等も積極的に実施し、管理運営委員、地域の利用者などが協力して施設の維持保全に努めている。</p> <p>さらに、コミュニティ事業についても、会館まつりでは利用者団体による芸能発表のほか、子ども向けの無料の模擬店など、地域のお祭りならではの企画を用意し、毎年大勢の来館者で賑わいを見せている。この他にも、地域住民の関心の高い課題(本年は「ごみ有料化・戸別収集について」)を取り上げた講演会や、地元選出市議を迎え地域の課題について意見交換を行う討論会など、地域の要望を汲み取った事業を積極的に展開している。</p> <p>空調機改修工事を24年度末に終え、今年度は利用者数も例年並みに戻っている。また開館30周年を記念して、式典の実施や記念誌の発行を行った。一方で会館の老朽化に関する指摘は利用者・管理人双方から挙がっており、安心・安全な利用のためにも今後もきめ細やかな維持管理が必要といえる。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市高松会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市高松会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的で開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:306日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 月給:昼勤務 85,213円 昼・夜勤務 22,907円・27,307円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:14,773名(前年度14,023名) 利用件数:1,064件(前年度1,061件) 平均施設使用率:34.9%(前年度37.2%)	A		
運営企画	S評価・・・会館まつり A評価・・・広報発行、AED講習会、利用者懇談会、高松町合同新年会	S×1 A×4		
事業収支	収入:2,885,632円、支出:2,885,632円 *指定管理料2,865,242円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に礼儀正しい挨拶・対応を心掛けた。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて内容を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	実施なし			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>高松会館は、地域コミュニティの拠点施設として、地域に密着した会館運営や企画づくりを心がけている。そのため地域の諸団体とは様々な面で協力しており、会館まつりなど会館が主催する行事に対して支援を受けているほか、会館としても自治連高松町支部、競輪場周辺対策協議会等、地域の各種団体が実施する行事に協力・協賛している。また、毎月開催している管理運営委員会では、各団体間の情報交換の場としての役割も兼ねており、このように会館が地域の諸団体と連携し、一体となりながら、高松町の地域活動を盛り上げている。</p> <p>また、施設の2階は高松児童館となっており、平成24年度より指定管理者による運営が行われている。高松会館では、他の学供施設には無いこの特徴を生かし、積極的に児童館との連携を図っている。例えば会館広報には毎号、児童館の行事案内等を掲載しているほか、会館まつりでは児童館職員による模擬店、ゲームなどの企画が実施されるなど、児童館との連携により、地域の子どもと、お年寄りを中心とした会館利用者との交流が生まれている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市若葉会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市若葉会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的で開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時5名 月給:昼勤務 55,880円～67,736円 夜勤務 26,500円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:31,405名(前年度29,445名) 利用件数:1,737件(前年度1,808件) 平均施設使用率:45.4%(前年度47.4%)	A		
運営企画	S評価・・・会館まつり A評価・・・広報発行、防災講座、利用者懇談会、スポーツ吹き矢体験、新春のつどい	S×1 A×5		
事業収支	収入:2,866,113円、支出:2,866,113円 *指定管理料2,865,242円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に礼儀正しい挨拶・対応を心掛けた。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	例年5月に開催する定期総会にて公表しているほか、所管部署へも提出している。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	実施なし			
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>若葉会館では、会館広報の発行、講座の開催、会館まつりの実施を、会館三大事業と位置づけており、地域の各種団体と協力しながら、管理運営委員会を挙げてこれらの事業に取り組んでいる。</p> <p>会館広報の発行については年3回行っているが、とりわけ毎年7月に発行する各種団体との合同広報では、会館のみならず自治会、文化会、体育会、青少健、子ども会など、地域の各団体の情報を掲載し、手配りで町内全戸配布を行っている。</p> <p>また、講座については、「教養」、「健康」、「グルメ」をテーマに年3回開催しており、いずれも地域住民の好評を博している。今年度は大雪のため、第3回は中止となったが、年間利用者数は増加傾向にある。</p> <p>さらに、若葉会館では、会館まつりを地域の子どもが主体のイベントとしており、地元の小中学校児童・生徒の作品展示や演奏発表をはじめ、子供向けのおはなし会や工作教室などが開催される。また1階の若葉図書館の協力による古本の頒布や、地域の各種団体による模擬店、地元野菜の販売も人気企画として定着しており、子どもはもちろん、大人も存分に楽しめる、地域交流の場となっている。</p> <p>こうした精力的な取り組みを通して、若葉会館は子どもから大人まで、地域の誰もが集える場として、地域コミュニティの要として機能している。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市こぶし会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市こぶし会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的で開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的で開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:332日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 89,320円 夜勤務 21,000円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:38,568名(前年度39,196名) 利用件数:2,332件(前年度2,334件) 平均施設使用率:40.7%(前年度41.1%)	A		
運営企画	S評価・・・会館まつり、こぶしファミリーコンサート A評価・・・広報発行、利用者懇談会、賀詞交換会	S×2 A×3		
事業収支	収入:2,871,289円、支出:2,871,289円 *指定管理料2,865,242円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に礼儀正しい挨拶・対応を心掛けた。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	高所照明球交換修繕、冷却水ポンプ点検作業修繕、電柱撤去及び既存電話光ケーブル引き込み改修修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>こぶし会館は、幸町と柏町の二町にまたがる会館であり、それぞれの地域の各種団体から選出された委員により運営されており、この二町の地域活動に様々な形でかかわっている。</p> <p>加えて、学習等供用施設11館の中で施設規模が最も大きく、また立川駅からモノレールもしくはバスでのアクセスが可能で、交通の便が良い施設であることから、市外を含む他地域からの利用や、行政の事業での利用が他館に比べて多いという特徴がある。また、施設1階の一部は、指定管理者が運営する幸図書館となっている。</p> <p>こうした事情により、こぶし会館には毎日多数の方が出入りしている。そのため施設の安全管理には特に気を配っており、利用者や図書館も交えての避難訓練を実施するなどして、安全意識の向上に努めている。また、管理人がこまめに館内の施設・設備の状況を確認し、不具合を発見した際には早急に対応するよう心がけている。</p> <p>一方で、二町にまたがるという規模の大きさを生かして、会館の各種事業も大変盛大に行われている。例えば5月の会館まつりは2日間にわたって開催され、利用者の芸能・作品発表や模擬店等で、毎年大盛況となっている。また、立川市地域文化振興財団との共催で12月に開催する「こぶしファミリーコンサート」も、プロの奏者の演奏が気軽に楽しめるとあって、大勢の来場者で賑わい、地域の住民にとっては、子どもから大人までが集える年末の恒例行事となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市羽衣中央会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市羽衣中央会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:344日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 月給:昼勤務 89,320円 夜勤務 42,000円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 運営企画の参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:28,620名(前年度28,183名) 利用件数:1,582件(前年度1,513件) 平均施設使用率:40.9%(前年度39.8%)	A		
運営企画	S評価・・・会館まつり A評価・・・広報発行、利用者懇談会、管外研修、講演会	S×1 A×4		
事業収支	収入:3,154,945円、支出:3,154,945円 *指定管理料2,865,242円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に礼儀正しい挨拶・対応を心掛けた。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	印刷機修繕、自家用電気工作物トランス絶縁油交換修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>羽衣中央会館は、羽衣町の地域活動の拠点として、地域内の各種団体と連携しながら、地域に密着した管理運営を行っている。実施事業については、会館の主要なコミュニティ事業である会館まつりを文化会の文化祭と合同で実施しているように、地域内の各種団体との共催というかたちで事業を行うことが多く、より多くの地域住民に会館を知ってもらい、また参加してもらえるよう取り組んでいる。さらに会館管理運営委員会としても、地域内の各種団体が主催する様々な行事に積極的に協力、参加しており、多方面にわたって地域に密着した活動を行っている。</p> <p>また、鮮やかなフルカラー印刷が目を引く会館広報を、年3回発行している。広報では、会館の情報のみならず、地域で開催される様々な事業について案内を掲載しており、地域の情報発信源として、会館が各種団体を繋ぐ役割を果たしている。</p> <p>一方、施設管理の面についても、利用者懇談会で寄せられる様々な要望に対し、設備機器の買い換えや軽微な修繕など、会館独自で行える場合には、指定管理料の修繕費を活用するなどして、優先順位をつけながら迅速に対応している。このように、地域のあらゆる活動の拠点である会館を少しでも快適に利用してもらえるよう、常に利用者の声に耳を傾けながらの管理運営を心がけている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市天王橋会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市天王橋会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:314日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 74,250円 夜勤務 36,070円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:18,930名(前年度13,338名) 利用件数:1,090件(前年度767件) 平均施設使用率:39.9%(前年度36.8%)	A		
運営企画	S評価・・・会館まつり、みんなのコンサート A評価・・・広報発行、利用者懇談会、16ミリ映画会、防災訓練講習会、わいわい教室	S×2 A×5		
事業収支	収入:2,905,256円、支出:2,905,256円 *指定管理料2,865,242円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	常に礼儀正しい挨拶・対応を心掛けた。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」「緊急対応マニュアル」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	コンセント修繕、サッシ修繕、2階倉庫雨漏り修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>天王橋会館は、一番町地域のコミュニティ拠点として、多くの地域住民に親しまれている。管理運営委員会の活動にも地域の住民が自主的に参加・協力し、特に施設管理の面においては、個人の特技を活かして軽微な修繕や植木の世話などをボランティアで行っており、会館はこうした善意により支えられている。</p> <p>また、コミュニティ事業についても、地元の小中学校から多くの児童・生徒やPTAが組織的に参加しており、こうした地域のボランティアの協力を受けて運営されている。毎年6月に行われる会館まつりでは、表の駐車場など広い敷地を活かして、地域の諸団体による多数の模擬店が並び、また館内では利用者による作品展示や芸能発表が行われ、世代を超えて多くの来館者で賑わっている。また立川市文化振興財団との共催で11月に行われている「一番町みんなのコンサート」では、地元小・中学校吹奏楽部や和太鼓クラブによる演奏や、プロの奏者との共演も行われ、子どもから大人まで地域の誰もが楽しめるイベントとなっている。このように、様々な場面で地域の住民が集う場として、会館は地域に欠かせない施設となっている。さらに利用者団体同士の交流にも尽力しており、今年度は7団体合同でのカラオケ自主発表会が行われた。</p> <p>空調機改修工事を24年度末に終え、16ミリ映画会、みんなのコンサート、わいわい教室などが好評で、今年度は利用者数や各行事の参加者も例年並みに戻っている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市柴崎会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市柴崎会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:330日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時3名 月給:昼勤務 89,000円 夜勤務 42,640円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:29,217名(前年度29,769名) 利用件数:2,136件(前年度2,112件) 平均施設使用率:64.5%(前年度65.1%)	A		
運営企画	S評価・・・会館まつり、柴崎ふれあいまつり A評価・・・広報発行、利用者懇談会、合同賀詞交換会、健康講座	S×2 A×4		
事業収支	収入:2,926,946円、支出:2,926,946円 * 指定管理料2,865,242円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員に対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	印刷機修繕(4月・8月・2月)、舞台調光用スイッチ修繕、吸収冷温水機緊急修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>柴崎会館の管理運営委員会には柴崎町内すべての自治会の代表が参加しており、地域住民の活動の場として、会館は地域になくてはならない施設として認知されている。したがって、地域内の様々な情報は会館に集約され、言わば会館が地域諸団体の事務局として、情報発信・伝達の機能を兼ね備えている。</p> <p>このように地域団体の強い結束に支えられた柴崎会館は、コミュニティ事業の実施においても、会館まつりなど、管理運営委員会を中心に各団体の協力のもと行っている。逆に自治連柴崎町支部が主催する柴崎ふれあいまつりにも管理運営委員会として全面的に協力するなど、他団体の事業に対しても積極的に支援するようにしている。</p> <p>また、柴崎会館では、近隣に柴崎学習館があるという立地状況の中、地域コミュニティの拠点として会館が存在することの重要性を強く訴える意味でも、とりわけ施設利用率の向上に熱心に取り組んでいる。その成果もあり、柴崎会館の利用率は長らく第1位を維持しており、他の学習等供用施設と比較しても非常に高い数字で推移している。</p> <p>このように地域の全面的な協力のもと、地域に密着した管理運営を行っている柴崎会館は、名実ともに地域にとって不可欠な施設となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市さかえ会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市さかえ会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:330日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 76,781円 昼・夜勤務 33,285円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:31,629名(前年度30,777名) 利用件数:2,261件(前年度2,175件) 平均施設使用率:62.9%(前年度60.2%)	A		
運営企画	S評価・・・会館まつり A評価・・・広報発行、利用者懇談会、AED講習・避難訓練、料理教室、市民講座、合同賀詞交換会	S×1 A×6		
事業収支	収入:3,162,480円、支出:3,162,480円 *指定管理料2,865,242円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特に無し			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	洗面器水栓金具修繕、冷媒管漏水修繕、ファンコイルユニットオーバーホール修繕、屋根修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>さかえ会館は、栄町のほぼ中心に位置し、また近隣に学習館等のサークル活動ができる施設がないこともあり、栄町における各種活動の拠点として、多くの地域住民に利用されている。定例的に会館を利用している団体もおよそ60団体を数え、会館の利用率、利用者数、利用件数のいずれも、学供施設全11館の中で上位に位置している。会館としても更なる利用率、利用者数の向上に努めている一方で、特に毎月の受付初日などは利用の重複などで混乱をきたすことが無いよう、管理人の指導を徹底しており、公平・公正な受付業務を心がけている。</p> <p>また、実施事業が多いこともさかえ会館の特徴であり、毎年6月の会館まつりを皮切りに、料理教室、講演会、卓球大会など、多種多様な事業を企画し、いずれも好評を博している。とりわけ会館まつりでは、地元の小学校金管バンドの演奏やフリーマーケットなどが開催され、地域の誰もが楽しめるお祭りとして大変なにぎわいを見せている。</p> <p>こうした地域への積極的な働きかけにより、多くの地域住民が集う場、機会を提供しているさかえ会館は、地域のコミュニティセンターとして、大いに機能している。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市西砂会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市西砂会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:220日 営業時間:9:00～22:00 (注:12月～2月まで空調機等の改修のため休館) 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 72,100円・75,000円 夜勤務 35,175円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:8,353名(前年度14,052名) 利用件数:456件(前年度745件) 平均施設使用率:27.5%(前年度33.7%)	A		
運営企画	S評価・・・会館まつり A評価・・・広報発行、お茶作り教室、そうめん流し、利用者懇談会、手打ちうどん作り道場、創立20周年記念式典	S×1 A×6		
事業収支	収入:2,871,227円、支出:2,871,227円 *指定管理料2,865,242円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会、役員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	クーリングタワー配管漏水修繕、吸収冷温水機緊急修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>西砂会館は、その立地条件から他地域の利用者は少ない反面、地元利用団体の作品等が常設的に展示されているなど、西砂地域に密着した会館として親しまれている。管理運営委員会も西砂の地域色を活かし、広報誌への歴史コラムの掲載や会館事業としての伝統食文化教室の開催などを通じて、地域の各種団体とも協力しながら西砂地域の文化の継承に重点的に取り組んでいる。</p> <p>とりわけ伝統食文化についての取り組みは、他館には見られない西砂の特色と言え、夏にはそうめん流し、正月にはまゆだま飾り、手打ちうどん作りをそれぞれ開催している。また、手打ちうどんについては、地元の小学校とも連携して、子どもたちにうどん作りを体験してもらう機会を提供している。こうした西砂ならではのコミュニティ事業を積極的に展開することが、地域の子どもやファミリー層の利用者を取り込むことにつながっている。</p> <p>また、会館を「地域の安全の拠点」とするため、利用者懇談会と防災訓練を同時に開催し、利用者団体と一緒に訓練に取り組んだり、館内に避難路の掲示を自主的に行うなど、事故や災害への備えについても重点的に取り組んでいる。</p> <p>25年度は空調機等改修工事のため12～2月にかけ休館としたため、例年その期間に行う行事が中止となったが、会館内外での掲示や、地域の諸団体を通しての事前周知を徹底したこともあり、利用者にも特段大きな混乱は無かった。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市上砂会館	非公募・特命	教育部 生涯学習推進センター
指定管理者名	指定管理期間	
立川市上砂会館管理運営委員会	平成24年4月1日～平成27年3月31日(3年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	設置条例、規則及び基本協定書等にのっとり、適正に管理運営を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
委員等が施設の設置目的を十分に理解しているか	管理運営委員会を定期的に開催しており、随時、施設の設置目的や管理上必要な基本的事項等の確認を行っている。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	条例、規則、受付の手引き等に従い、毎月初日に一斉予約受付など、公平・公正に施設を利用できる受付システムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	管理運営委員会を定期的に開催しており、運営委員や管理人が交代する際のサポートも十分なされている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:334日 営業時間:9:00～22:00 管理人配置状況:月・水・金は9:00～17:00、その他の曜日については利用者がある場合のみ勤務。なお、夜間は利用者のある場合に勤務し、鍵の開閉を行う。 管理人配置:臨時4名 月給:昼勤務 74,820円 昼・夜勤務 35,500円	A	基本的事項は、事業計画どおりに実施されている。 賃金単価については、東京都の最低賃金を下回らないよう支給されている。 多くの企画を行い参加も多く、地域に開かれた取り組みが行われている。	A
利用実績	利用者数:37,781名(前年度40,051名) 利用件数2,647件(前年度:2,651件) 平均施設使用率:34.1%(前年度49.4%)	A		
運営企画	S評価・・・上砂会館まつり A評価・・・広報発行、クリスマスカード作り、上砂会館新年会、利用者懇談会	S×1 A×4		
事業収支	収入:2,865,345円、支出:2,865,345円 *指定管理料2,865,241円 【その他 コミュニティ事業委託料500,000円あり】	A		
損害保険等加入状況	第三者賠償費用 1名1億円、1事故1請求または1保証5億円	A		
不可抗力発生時のリスク分担及び対応状況	費用負担及び不可抗力の発生時の分担は、基本協定書により取り決めをしている。	A		
第三者への委託状況	管理運営委員会からの第三者委託はなし	A		
新たな取り組みの状況	特になし			

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	利用者に好感をもたれるよう意識して対応した。名札は必要に応じ、行事の開催時等に着用している。	A	職員の対応で問題となるケースもなく、きちんと対応されている。 「受付の手引き」等に基づき、適正に業務が実施されている。 利用者懇談会を年1回開催し、結果を会館広報にて公表している。 事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表している。 定期的に管理運営委員会を開催し、業務の点検を行っている。	A
マニュアルの整備	「受付の手引き」に基づき適正に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	管理人も管理運営委員会に出席させ、委員との意見交換の場を設けている。	A		
所管部署との連携・連絡	年5回開催された学供施設代表者連絡会で、所管部署との業務調整や意見交換を行った。	A		
利用者アンケート等の実施	年1回利用者懇談会を開催し、広報にて結果を公表した。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市で発行したパンフレットを必要に応じて増す刷りして対応。市のHPで施設概要を公開している。	A		
事業計画・報告書の公表	事業計画書・報告書を総会で利用者団体代表等に公表した。	A		
公平・公正利用の確保	条例・規則のほか「受付の手引き」に基づき、公平に業務を遂行した。	A		
業務の点検	定期的に管理運営委員会等を開催し、業務点検を行っている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	定期清掃は別に市が委託した事業者が行っているが、日常的には、会館内外の衛生・美観を保つよう常に取り組んでいる。	A	会館内外ともに良好な状態で管理されている。	A
施設及び設備の保守・点検	保守管理は別に市が委託した事業者が行っているが、施設の損傷がないかどうかの点検は行っており、異常が発見された場合は、すぐに市に報告している。	A		
保安・警備	見回り、点検を欠かさず実施している。	A		
小規模修繕	階段ノンスリップ修繕	A		
備品管理	市の備品は市備品台帳により、指定管理者の備品は指定管理者の責任において、それぞれ管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	日常的に指導を行っている。	A	個人情報取扱特記事項に基づき、適切に実施されている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報取扱特記事項に基づき、業務が執行されている。	A		
適正な管理	個人情報については、施錠のできる場所に保管している。	A		
再委託の禁止	再委託していない。	A		
研修・教育の実施	日常的に指導を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報取扱特記事項に基づき、整備されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めて、適切に実施されている。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	管理運営委員会で事故・災害発生時の連絡体制等を定めるとともに、管理人による日常点検を行っている。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	管理運営委員会の委員は地域諸団体からの選出者で構成されており、日頃より地域からの意見や要望を会館運営に汲みいれている。条例の設置趣旨に沿って、地域コミュニティの振興に努めている。	A	地域のための施設として、地域及び地域住民との連携が取れており、地域貢献が行われている。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>上砂会館は、平成12年に開館した、学習等供用施設11館の中で最も新しい施設である。当館の特徴として、学習等供用施設で唯一の音楽室(防音設備完備)や広いホールを備えていることもあってか、地域外からの利用や有料団体による利用も比較的多く、利用料の収入は学供施設の中で最も多い(他10館平均の約3.5倍)上に、利用者数も多い。さらに、図書館(2階)・児童館(1階)・学童保育所(1階)・福祉事業所(1階)・一般住居(3階以上)との複合施設であり、また会館の出入口を図書館と共有していることから、会館利用者以外の来館者が会館窓口を訪れることも多い。こうした事情もあり、毎日多くの会館利用者・来館者を迎える上砂会館では、日頃から窓口での接客対応については意識的に取り組んでおり、窓口では会館利用者・来館者と丁寧にコミュニケーションをとるよう心がけている。</p> <p>また、地域にある団地住民を中心に地域活動への関心が強く、会館実施事業もこうした地域の各種団体から協力を受けながら、地域住民の誰もが参加しやすいよう企画している。とりわけ、毎年9月末に2日間にわたって開催される会館まつりでは、前夜祭として地元音大のジャズオーケストラによる演奏が行われたほか、翌日の利用者団体による芸能発表では、他館と比較しても出演者数が非常に多く、限られた時間で一人でも多くの方が発表の場を持てるよう工夫されている。さらに館内には所狭しと利用者による作品が展示され、また児童館では子ども向けに無料の模擬店も催されるなど、子どもから大人まで、地域の誰もが集い楽しめる場となっている。</p> <p>このように上砂会館は年間4万人近くが利用する生涯学習活動の場として、また同時に上砂地域のコミュニティセンターとして、多くの利用者、また地域住民に親しまれ、無くてはならない施設となっている。</p>		A	地域の会館として、地域住民の手で管理・運営が行われている。法令等を遵守し、仕様書等に定められた水準に達している。	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
柴崎市民体育館	公募	スポーツ振興課
指定管理者名	指定管理期間	
シンコースポーツ・山武共同事業体	平成22年4月1日～平成27年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	事業計画書及び設置目的を十分に理解するために研修を行い、管理運営にあたった。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	公共施設であることを理解し、設置目的及び第3次スポーツ振興計画などの勉強会を行い理解度の向上を図った。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	性別・年齢・国籍・障害の有無などの差別なくすべての利用者が公平・公正に利用できるシステムを構築している。	A		
事業の継続性の担保	事業が安定的かつ継続的に遂行するため、職員の異動が伴う場合は、引継ぎを行い、また、そのための連絡体制を構築している。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:345日 開館時間:9:00～23:00 職員配置:正社員・契約社員 13名 その他臨時職員 臨時職員賃金:時給890円～1,250円	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 3か月間のプール休館により、利用者数は前年度比減となったが、自主事業で高実績を上げ、市への納付額は過去最高(約130万円)となった。 提案事項のうち、1つ以外は着実に実施した。残りの【運動型健康増進施設の認定取得】については、実現に向けて取り組まれた。	A
利用状況	【利用者数】 260,650人(前年度305,502人) 前年度比85% 【団体利用】 103,017人(前年度120,795人) 前年度比85%	A		
運営企画	S評価・・・各種スポーツ教室 A評価・・・柔道整復師・医師・栄養士等による健康講座	S×1 A×3		
事業収支 経営状況分析指標	収入:205,797,409円、支出:195,412,499円 事業収支:10,384,910円 指定管理料139,286,856円 利用料金比率 22% 人件費比率 41% 利用者1人当たり管理コスト 750円 利用者1人当たり市負担コスト 534円	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	施設賠償責任保険 支払限度額:3億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	プール水水質検査・簡易専用水道水検査、電話交換設備保守、自家用電気工作物保安全管理、エレベータ設備保守、建築設備定期検査、競泳用自動時計保守、プール水処理設備保守、空調用自動制御装置保守検、ばい煙測定検査、膜屋根保守、清掃・害虫駆除(館内)・樹木剪定管理、冷温水発生機保守、機械警備等	A		
新たな取り組みの状況	シェイプバトルボクシング教室、ボルダリングルートの変更、放置自転車の撤去、パソコン交換	A		
提案の実施状況	S評価・・・ボルダリング設置、物品販売 A評価・・・遠隔監視システム導入、建物管理業務のWEB化、プール監視システム「ポセイドン」設置、新規トレーニングマシン変更、レンタルロッカー設置、自動販売機、スタジオ新設 B評価・・・運動型健康増進施設の認定取得	S×2 A×7 B×1		

評価の視点及び項目			2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	ユニホームを着用し、適切に実施した。	A	アンケート結果からも、職員の対応は適切に行われている。 業務マニュアルを整備し、マニュアルにそって業務を実施している。 アンケート結果では、全体的に満足度が非常に高く、利用者からの評価はとても良い。	A
マニュアルの整備	業務マニュアルを設置し、適切に実施した。	A		
研修・教育の実施状況	外部研修、社内研修、日常研修を積極的に実施。	A		
所管部署との連携・連絡	所管部署とは月1回会議を開催し、連絡・調整を行っている。	A		
利用者アンケート等の実施	定期的に利用者アンケートを実施し、閲覧できるファイルを設置してある。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	施設のパンフレット、利用種目別チラシを作成している。ホームページは作成し、適宜情報を発信している。	A		
事業計画・報告書の公表	規定に従い、公表している。	A		
公平・公正利用の確保	施設予約システム等により、公平・公正利用に努めている。	A		
業務の点検	社で定めるPDCAサイクルにて業務の改善を行い、さらに社内監査により改善に努めている。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業務漏れがないようにチェックリストを作成し、適切に実施された。	A	マニュアル、事業計画書・協定書に基づき概ね適切に実施されている。 清掃時間の工夫などにより、施設の清潔保持に努めた。 利用者からの要望が多かった、プール更衣室については改善が見られた。 施設が大規模なため修繕を要する箇所も多いが、適切に行われている。	A
施設及び設備の保守・点検	事業計画・協定書に基づき、施設管理マニュアル等を整備し、適切に実施している。	A		
保安・警備	事業計画・協定書に基づき、適切に実施している。	A		
小規模修繕	中水配管漏水修繕、歩道タイル修繕、ファンコイルユニット交換、ボイラー温水循環フレキ管交換、貯湯槽安全リリーフ弁交換、プール清浄剤投入、MIOXシステム修繕、キュービクル電流計切替器交換、湧水槽用電極帯交換、雑排水槽用電極帯交換、オーバーフロー配管交換、強制シャワー系統排水管交換、プール混合栓交換、MIOXシステム漏液修繕、ボイラー真空スイッチ交換、プール男子更衣室カーテンレール交換、自動火災報知設備不良改善、ドアクローザー交換、誘導灯不良改修	A		
備品管理	備品台帳を作成し、適切に管理している。	A		

(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	内部監査員による調査・監督を行っている。	A	前年度起こったメール誤送信の再発防止対策を含め、適切に行われている。	A
個人情報等秘密の保持	個人情報保護条例を十分に教育・理解し業務を遂行している。	A		
適正な管理	全スタッフと個人情報に関わる同意通知を結び防止策を講じている。	A		
再委託の禁止	主要な業務は共同事業体により実施し、第三者への委託は限定されている。	A		
研修・教育の実施	社内研修の実施及び施設内での日々の教育を実施を行っている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	個人情報マニュアルを整備している。	A		
評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	3件の苦情があった。 ・ロッカーの鍵の故障が多い。 ・プール教室の抽選は市民のみで行ってほしい。 (同意見がもう1件あり)	A	苦情等への対応や事故防止は、適切に行われた。	A
事故の予兆に対する対応	ヒヤリ・ハツとした事項は、毎日の朝礼・終礼などで対応策を確認。蓄積・共有することにより事故の未然防止・施設の安全に役立てる。月1回の社員ミーティングでも確認。			
具体的にヒヤリ・ハツとした状況	・地下1階の女子トイレに不審者が閉じこもり盗撮。スタッフが取り押さえ警察を呼び対応。 ・2月の大雪でプールの室温が上がらず、19時で閉館。			
事故防止対策の取り組み状況	安全マニュアルや日常の救助訓練を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	体協を通じた地域への優先貸出の実施(第2・4月曜日)、根川緑道のゴミ拾い、地域主催のボランティア活動への参加、折込広告による地域に開かれた施設運営	A	近隣住民への配慮や、体育協会との連携が図られた。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
東京国体 選挙開票 プール休館4月～6月	国体の大会運営の補助。 選挙開票使用時の管理及び設備員の配置。 プール屋根修繕工事による休館への対策として利用者確保のためプール教室を臨時開催(7月)。	A	他の事業に対しても協力的に対応した。	A
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	5,196,782円の削減。(平成20年度決算との比較) *平成21年度は施設改修工事があり、閉館したため	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A

施設担当課評価		2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価			
<p>平成25年度は、24年3月にオープンした日野市総合体育館に加え、プール屋根補修工事によるプール休館(H25.4~6)や、泉市民体育館の再開(H24.7~)など、柴崎市民体育館にとって逆風となる条件が例年にも増して揃いつつも、自主事業のスタジオ教室のさらなる躍進もあって、結果として、約26万人と直當時(21年度)と比べて30%の利用者増となった。</p> <p>施設管理面では、ほとんどの管理項目で適正に遂行されており、以前から指摘が多かったプール更衣室についても、大きく改善した。ただし、プール利用者増がさらなる指摘を生む状況は変わりなく、今後もスタッフの細やかな気配りとこまめな清掃が求められる。</p> <p>自主事業は好調で、市への還元額は130万円(過去最高額)となった。特に子どものプール教室が評判となり、それがかえって多数の落選者を生じさせることとなったが、市内・市外の方を分け隔てなく対応している点に市民からの苦情があるため、今後、市民優遇枠を設ける等、柔軟な対応を検討する余地が残されている。</p> <p>指定管理者の堅実な運営ぶりがうかがえ、一部にS評価やB評価はあるものの、多くの項目は仕様書・提案書どおりの水準であり、総合評価としてはA評価とする。</p>	A	<p>補修工事によるプール休館や周辺体育施設のオープン等の悪条件を克服し、一定の利用者を確保したこと、有効な自主事業を展開し、過去最高の市への納付額を達成したことは評価に値する。</p> <p>利用者アンケートの結果からもサービスの質の高さがうかがえる。運営、施設管理等については、仕様書等で定められた水準に達しており、A評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度実施分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
立川市幸図書館	公募	教育部図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年6月1日～平成30年3月31日(4年10か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を順守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:321日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員(月給制・時給制)7人 (平成25年11月1日～12月24日は6人) うち司書有資格者6人(86%) 時給制職員賃金: 司書資格無930円以上 司書資格有950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計ではバランスが取れている。 大規模レイアウト変更により、利用者がより多様な本に会えるように工夫した。 提案事項は着実に実施した。	A
利用状況	【利用者数】 36,323人(前年度34,364人 前年度比105.7%) 【貸出冊数】 123,008冊(前年度131,853冊 前年度比93.3%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:24,499,620円、支出:24,645,639円 事業収支:▲146,019円 人件費比率 77.9%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	なし			
新たな取り組みの状況	S評価・・・利用者の動線を踏まえた大規模なレイアウト変更を実施 A評価・・・住民と触れ合う行事の実施、中学校との連携強化	S×1 A×2		
提案の実施状況	S評価・・・幸・高松・若葉の相互補完を利用した特徴ある蔵書構成の構築 A評価・・・栄町地域公共施設を利用した行事の開催による図書館利用促進、調べ学習支援行事の開催、体験型研修の実施、筆談ボードの設置、耳マークの配布、市民参加型展示、近隣自治会との連携	S×1 A×5		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	S評価・・・挨拶・応対等、電話・接客応対等、利用者アンケートの結果 A評価・・・服装・名札の着用、利用者の説明 全般的に良好であった。	S×3 A×2	利用者からも、職員の接客応対等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した。	A		
所管部署との連携・連絡	調整会議をはじめ、連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成26年2月に実施、報告済み。	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し、周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外	—	清掃業務、施設設備保守、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外	—		
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外	—		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報遵守された。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託している状況はない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修に加え、関連研修が館内でも頻繁に実施されている。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特に無し。		特に大きな事故もなく、業務を行った。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特に無し。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特に無し。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。また、「幸図書館危機管理マニュアル」を作成している。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	自治会や商店等との連携や懇談会等の中で、情報交換を図り、意見要望が把握できている。また、近隣市施設へ行事のチラシ配布等で協力を得るなどにより、連携に努めている。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに積極的に取り組んだ。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特に無し。			—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	1,073千円の増額。(平成21年度人件費の比較)	A	直営時は中央図書館の業務支援を受けていたため、削減額は生じていない。	A
施設担当課評価			2次評価	2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>幸図書館の利用者数は、25年度において再び増加に転じ、対前年度比で5.7%の伸びを示した。23年度まで大幅な伸びを示したものの、24年度はほぼ横ばい(微減)であったことから、利用者数は一定のレベルに達したと考えていたが、システム更新による長期休館や2月の大雪による影響などがあつた中で利用者が増えたことは、十分に評価できる。</p> <p>指定管理者となって4年目を迎えた中で、このように利用者を増やすことができたのは、児童コーナーのレイアウトを大幅に変更するなど、小規模館でありながら、常に利用者に新たな本との出会いを創出するような取組を重ねてきたことなどによる。</p> <p>また、サービス向上や業務改善の取組だけでなく、自主事業においては、25年度からスタッフが講師を務める講座等を増やして地域との交流をさらに深めたり、従来から続いている第四中学校との連携においては、学校からの依頼によりブックリストを作成したりするなど、様々な形で地域に親しまれる図書館づくりを進めた。</p> <p>こうした取組を支えるスタッフの教育・研修については、会社として充実した研修制度を構築しており、25年度も本社研修や館内研修が頻繁に実施され、多くのスタッフが参加してスキルアップに努めた。さらに、個人情報保護については再三にわたって研修が実施されたほか、例年と同じく社内監査も行われ、セキュリティ確保の徹底が図られた。</p> <p>接客対応については、従来から利用者アンケートで高い評価を得ていたが、25年度もその水準を維持し、指定管理館5館の中では、最もよい評価を受けた。</p>		A	<p>利用者数は、前年度は微減であったが、25年度は想定を上回る増加となり、着実に利用者を増加させている。</p> <p>提案事項は着実に実施し、成果を得ている。</p> <p>接遇や様々なサービス向上に取り組んだ結果、アンケートでの各項目の高評価につながった。</p> <p>以上のことから、評価基準に照らし合わせるとA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
西砂図書館	公募	教育部図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価		
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価	
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み					
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A	
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A			
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A			
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を順守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A			
(2)業務の履行状況					
①基本的事項	開館日数:321日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員(月給制・時給制)9人 うち、司書有資格者7人(77.7%) 時給制職員賃金: 司書資格無930円以上 司書資格有950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計ではバランスが取れている。 幅広い層の利用者が使いやすい図書館づくりに取り組んでいる。	A	
②利用状況	【利用者数】 41,004人(前年度38,313人 前年度比107.0%) 【貸出冊数】 155,118冊(前年度163,498冊 前年度比94.9%)	A			
③運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A			
④事業収支 ⑤経営状況分析指標	収入:30,829,380円、支出:29,643,606円 事業収支:1,185,774円 人件費比率75.5%	A			
⑥損害保険等加入状況 ⑦不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A			
⑧第三者への委託状況	なし	A			
⑨新たな取り組みの状況	落語会や工作会など幅広い年齢層を対象の行事の実施。展示コーナーの新設。調べ学習用パソコンの設置、有料データベースの導入。カラーコピー機の設置。館内環境の整備。	S×1 A×5			
⑩提案の実施状況	調べ学習支援行事の開催。各館の特徴をいかした蔵書構成の構築。障害者・高齢者サービスの充実。周辺地域のガイドマップ作成と関連展示。市民参加型展示。近隣自治会への図書館だより配布。危機管理マニュアルの作成。	A			提案事項も着実に実施した。

評価の視点及び項目	施設担当課評価		評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。 アンケートでの評価は高い。	A	利用者からも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月定例会議を開催。連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成26年2月に実施、報告済み	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外		清掃業務、施設設備保守(一部を除く)は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外			
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	電気配線の短絡・漏電防止。	A		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が遵守された。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託している状況はない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻繁に実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	ブックポストへのごみ投棄・火災防止するため、注意喚起の掲示を行い、館外の巡回により注意するよう、スタッフに指示した。			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	ブックポストへのたばこの吸殻投棄が発生。			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	図書館だよりの配布などを通し、初年度から地域の自治会と情報交換が図られた。最寄駅やスーパー、産直会など、様々な団体とつながりをつかった。利用者参加型の案内マップ作成を通し、地域に開かれた図書館づくりに取り組んだ。	S×1 A×2	幅広い層の住民に親しまれる図書館をめざし、意欲的に取り組んだ。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。			
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	9,003千円の削減。	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>利用者数は、対前年度比で7.0%の増であり、事業計画書で目標としていた「対前年度比10%以上の増加」には届かなかった。しかし、図書館システム更新による長期休館や2月の大雪の影響がなければ、10%程度増加したものと推測しており、駅から遠く夜間開館による利用者増をあまり見込めない地域性なども勘案すると、順調なスタートを切ったと考えている。</p> <p>指定管理者として運営を行う初年度ではあったが、地域の自治会や最寄駅の鉄道会社、地元のスーパーや産地直売会などとも連携して情報発信に努めたほか、利用者からの情報なども盛り込んだ「地域案内マップ」を作成し閲覧に供することで、地域への理解と関心を深めてもらうなど、地域に開かれた図書館づくりに積極的に取り組んだ。</p> <p>また、中央図書館で使われなくなっていた雑誌架を再利用し、雑誌コーナーをリニューアルしたほか、図書の配架位置を分類順にしたり、分類や著者名の見出し板を増やしたりして、利用者が本を探しやすくするなど、利用者目線に立った様々な改善を進めた。</p> <p>こうした取組を支えるスタッフの教育・研修については、会社として充実した研修制度を構築しており、25年度も本社研修や館内研修が頻繁に実施され、多くのスタッフが参加してスキルアップに努めた。特に、個人情報保護については再三にわたって研修が実施されたほか、例年と同じく社内監査も行われ、セキュリティ確保の徹底が図られた。</p> <p>接客対応に関するアンケート結果は、5館の中では低い評価であったが、他の調査項目との比較では評価が高く、個別意見でも「対応が良かった」という声は多かった。</p>		A	<p>指定管理開始初年度。意欲的にサービス向上に取り組み、利用者増につながった。特に、地域との連携・交流には力を入れ、地域に親しまれる図書館として認知されてきている。</p> <p>提案事項は着実に実施し、成果を得ている。</p> <p>以上から、評価基準に照らしA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
高松図書館	公募	教育部図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を順守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:321日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員(月給制・時給制) 7人 (4月のみ6人) うち、司書有資格者5人(71.4%) 時給制職員賃金: 司書資格無930円以上 司書資格有950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計ではバランスが取れている。 幅広い層の利用者が使いやすい図書館づくりに取り組んでいる。	A
利用状況	【利用者数】 25,534人(前年度24,859人 前年度比102.7%) 【貸出冊数】 88,510冊(前年度97,046冊 前年度比91.2%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:25,584,250円、支出:26,181,947円 事業収支:▲597,697円 人件費比率77.9%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	なし	A		
新たな取り組みの状況	小中学生向け、大人向けの調べ学習関連行事。乳幼児向けお話し会。ブックスタート会場での利用案内と読み聞かせ支援。一般向け講演会、子ども向け工作会の実施。展示コーナーの新設、カラーコピー機の設置。館内環境の整備。	S×1 A×7		
提案の実施状況	栄町での行事開催による図書館利用促進。調べ学習支援行事の開催。パスファインダーの作成。健康会館と連携した子育て支援事業。各館の特徴を生かした蔵書構成の構築。障害者・高齢者サービスの充実。高松学習館・児童館との連携行事の実施。危機管理マニュアルの作成。	S×2 A×6		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。 アンケートでの評価は高い。	S×2 A×3	利用者からも職員の接客対応等についての評価は高く、初年度としては高く評価できる。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月定例会議を開催。連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成26年2月に実施、報告済み	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外		清掃業務、施設設備保守(一部を除く)は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	評価対象外			
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外			
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が遵守された。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託している状況はない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻りに実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	図書館だより、行事のチラシ等の配布などを通し、初年度から近隣の福祉会館や保育園と情報交換が図られた。 乳幼児向けのお話し会を始めるなど、幅広い年齢層に対応して事業を展開した。 高松学習館・児童館、大家である健康会館とは密接な連携が図られている。	A	近隣施設との連携は進んでいる。今後は自治会等との情報交換も進められたい。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。			—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	10,043千円の削減。	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>利用者数は、対前年度比で2.7%の増であり、事業計画書において目標としていた「対前年度日10%以上の増加」には大きく届かなかった。しかし、図書館システム更新による長期休館や2月の大雪による影響がなければ、6%程度の増加には至ったものと推測しており、中央図書館に近く、夜間開館による利用者増をあまり見込めない地域性なども考慮すると、一定の評価はできると考えている。</p> <p>指定管理初年度ではあったが、レファレンスサービスの充実に取り組み、子ども向け、大人向けの関連行事を開催したり、パスファインダーの作成を進めたりしたほか、企画展示のコーナーも多く新設し、毎回テーマの解説パネルも作成するなど、中央図書館に近いという厳しい状況の中で、利用者や貸出冊数を増やす努力を重ねてきた。</p> <p>また、ブックスタート事業が行われている健康会館の併設施設であるという環境を活かし、ブックスタート会場で、読み聞かせや図書館の利用案内を行い、子育て支援と新たな利用者の獲得にも努めてきた。</p> <p>こうした取組を支えるスタッフの教育・研修については、会社として充実した研修制度を構築しており、25年度も本社研修や館内研修が頻繁に実施され、多くのスタッフが参加してスキルアップに努めた。特に、個人情報保護については再三にわたって研修が実施されたほか、例年と同じく社内監査も行われ、セキュリティ確保の徹底が図られた。</p> <p>このほか、接客対応については、館内で独自の研修を行ったり、朝礼で毎回あいさつの練習を行ったりするなどの努力を重ねた結果、アンケートでは、新規導入館でありながら、非常に高い評価を得た。</p>		A	<p>指定管理開始初年度。意欲的にサービス向上に取り組み、利用者増につながった。特に、併設施設とは密接に連携し、新たな利用者の獲得に努めた。</p> <p>提案事項は着実に実施し、成果を得ている。</p> <p>接遇には特に力を入れており、新規導入館としては非常に良好なアンケート結果となった。</p> <p>以上から、評価基準に照らしA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
錦図書館	公募	教育部図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年6月1日～平成30年3月31日(4年10か月)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等に基づき、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を順守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:321日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員(月給制・時給制)9人 (平成25年7月16日～10月20日は10人) うち、司書有資格者7人(77.7%) 時給制職員賃金: 司書資格無930円以上 司書資格有950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計ではバランスが取れている。 提案事項も着実に実施した。	A
利用状況	【利用者数】 54,068人(前年度53,019人 前年度比102.0%) 【貸出冊数】 190,827冊(前年度212,448冊 前年度比89.8%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:31,198,830円、支出:31,497,503円 事業収支:▲298,673円 人件費比率76.88%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク 分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	図書運搬リフト点検	A		
新たな取り組みの状況	利便性向上のためのレイアウト変更、「本の福袋」などのイベントの実施。担当小中学校生徒による展示の実施。都立多摩図書館、子ども未来センターとの連携、国立極地研究所と連携した講座実施など。	A		
提案の実施状況	調べ学習支援行事の開催。各館の特徴をいかした蔵書構成の構築。障害者・高齢者サービスの充実。六小図書委員によるおすすめ図書展示。図書館だより、行事パンフレットの自治会への配布等。都立多摩図書館、子ども未来センターとの連携、国立極地研究所と連携した講座実施など。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。 アンケートでの評価は高い。	A	利用者からも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月定例会議を開催。連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成26年2月に実施、報告済み	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	評価対象外		清掃業務、施設設備保守(一部を除く)、修繕は対象外である。 その他は適切に実施されている。	A
施設及び設備の保守・点検	図書運搬リフト保守点検済み。不具合を適切に修理した。	A		
保安・警備	館内および周辺の見回りは適切に行っている。	A		
小規模修繕	評価対象外			
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が遵守された。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託している状況はない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻りに実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	幅広い年齢層を対象に、多彩な行事を開催し、開かれた図書館づくりに取り組んだ。また、学習館や児童館とは従来から連携関係ができていますが、自治会との連携も深まっている。	A	様々な事業を通じて、地域住民とのつながりを持ち、開かれた図書館づくりに取り組んだ。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。			—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	8,523千円の削減。(平成21年度人件費の比較)	A	導入前と比較し経費削減が図られている。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等		
◆ 総合評価				
<p>利用者数は、24年度が対前年度比0.7%増であったのに対し、25年度は2.0%増で、伸び率は若干高くなったが、ほぼ横ばいといえる状況であった。25年度には図書館システム更新による長期休館や、2月の大雪による影響があったことなどを考えると、本来であればもう少し利用者が増えていたものと想定できることから、一定の評価はできる。</p> <p>指定管理者となって4年目となり、これまでもサービス向上や業務改善に向けた様々な取組を進めてきたが、25年度も分野ごとに配架位置を入れ替えたり、児童の研究資料やYAのコーナーを変更したりするなど、利用者目線に立った改善を続けており、こうした絶え間ない取組が、若干ではあるが利用者を増やせた要因であると考えている。</p> <p>また、これまであまり活発に行われていなかった学校やその他の公共施設等との連携も始まり、事業を幅広く展開できるようになってきた。</p> <p>こうした取組を支えるスタッフの教育・研修については、充実した研修制度が構築されており、25年度も本社研修や館内研修が頻繁に実施され、多くのスタッフが参加してスキルアップに努めた。特に、個人情報保護については再三にわたって研修が実施されたほか、例年と同じく社内監査も行われ、セキュリティ確保の徹底が図られた。</p> <p>24年度まで幸図書館と同様に非常に高い評価を得ていた接客対応については、25年度のアンケートでは各項目とも評価が下がったが、これは年度当初の配置替え等による影響で、全体としての対応が悪くなったわけではないと考えている。</p>		A	<p>利用者数は、前年度を上回る伸び率で増加となり、着実に利用者を増加させている。</p> <p>提案事項は着実に実施し、成果を得ている。</p> <p>以上から、評価基準に照らしA評価とする。</p>	A

立川市公の施設指定管理者評価シート(平成25年度指定管理分)

評価ランク	評価内容
S	仕様書、提案書、協定書等(以下「仕様書等」という。)で定められた水準をかなり超えている
A	仕様書等で定められた水準に達している
B	仕様書等で定められた水準に達成していないものも一部あるが、施設運営等に支障は生じていない
C	仕様書等で定められた水準に達しておらず、早急な改善・勧告が必要である

施設名称	公募の有無	施設担当課
若葉図書館	公募	教育部図書館
指定管理者名	指定管理期間	
株式会社 図書館流通センター	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年)	

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(1)施設の設置目的達成に関する取り組み				
施設の設置目的の達成状況	基本協定書、要求水準書に従い、適正に管理を行った。	A	施設の設置目的を十分理解して適正に管理・運営されている。	A
職員が施設の設置目的を十分に理解しているか	館内整理日の研修、日々の朝礼や打ち合わせ等の機会を活用し、全員が共通認識をもって業務を執行するよう取り組んでいる。	A		
利用者の公平・公正利用の確保	市図書館の条例・規則、業務マニュアル等及び館独自のマニュアルに沿って、すべての利用者に対して、平等にサービスを提供している。	A		
事業の継続性の担保	異動・採用にあたっては、協定書を順守し、専門的職員の確保と配置を適正に行っている。	A		
(2)業務の履行状況				
基本的事項	開館日数:321日 開館時間:10:00～19:00(平日) 10:00～17:00(土・日・祝日) 職員配置:契約社員(月給制・時給制) 14人 うち、司書有資格者11人(78.5%) ゼネラルマネージャー1人 時給制職員賃金: 司書資格無930円以上 司書資格有950円以上	A	基本的事項については、事業計画どおり実施されている。 賃金単価については、法令等遵守されている。 事業収支は、指定管理5館のそれぞれでプラス・マイナスが出ているが、5館合計ではバランスが取れている。 幅広い層の利用者が使いやすい図書館づくりに取り組んでいる。 5館の統括館として、様々な取り組みを推進した。 提案事項についても着実に実施した。	A
利用状況	【利用者数】 63,317人(前年度55,877人 前年度比113.3%) 【貸出冊数】 216,874冊(前年度222,881冊 前年度比97.3%)	A		
運営企画	おはなし会、講座・講演会、テーマ展示	A		
事業収支 経営状況分析指標	収入:54,421,060円、支出:53,471,439円 事業収支:949,621円 人件費比率65.6%	A		
損害保険等加入状況 不可抗力発生時のリスク分担及び対応	賠償責任保険 支払限度額:10億円 協定書に基づき、リスク分担して対応。	A		
第三者への委託状況	自家用電気工作物保守点検、消防設備保守点検、機械警備、特殊建築物検査、建築設備定期検査、清掃業務、空調設備点検、樹木剪定、エレベーター保守点検、学校への図書配送業務	A		
新たな取り組みの状況	夏休み・春休みの行事、展示コーナーの新設、調べ学習用パソコンの設置、有料データベースの導入、カラーコピー機の設置。館内環境の整備。	A		
提案の実施状況	栄町での行事開催による図書館利用促進。調べ学習コンクール。調べ学習支援、学校図書館サポート事務局の設置。各館の特徴を生かした蔵書構成の構築。障害者・高齢者サービスの充実。高松学習館・児童館との連携行事。ボランティアスキルアップ講座。図書館だよりの創刊。危機管理マニュアルの作成。	S×1 A×11		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		評価理由等	2次評価
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価		
(3)サービスの質に関する事項				
職員の対応	電話対応・接客対応ともに、適切に実施した。 アンケートでの評価は高い。	A	利用者からも職員の接客対応等についての評価は高い。 マニュアルに沿って業務を実施している。 市と毎月、連絡調整会議を行い、業務を遂行している。	A
マニュアルの整備	市図書館が配布したマニュアル類を整理して、常備している。また、マニュアルに基づき適切に業務が行われている。	A		
研修・教育の実施状況	本社での集合研修のほか、館内整理日には独自に研修を実施した	A		
所管部署との連携・連絡	毎月定例会議を開催。連絡・調整は十分に行った上で、業務を進めている。また、各種連絡網は整備され、緊急時の体制は整っている。	A		
利用者アンケート等の実施	平成26年2月に実施、報告済み	A		
広報・PR等の利用情報の提供	市図書館共通の利用案内のほか、独自ホームページを開設し周知している。	A		
事業計画・報告書の公表	指定管理者の独自ホームページで公表されている。	A		
公平・公正利用の確保	利用者に対しては、平等にサービスが提供されている。	A		
業務の点検	アンケート等を活用した利用者意見の収集・利用動向の把握に努め、業務改善を実施。	A		
(4)施設・設備の維持管理状況				
清掃業務	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A	業務仕様書に従い、適切に実施された。 小規模修繕についても適切に実施された。	A
施設及び設備の保守・点検	業務仕様書に従い、適正に実施された。	A		
保安・警備	業務仕様書に従い、適正に実施された。 館内および周辺の見回りも適切に行った。	A		
小規模修繕	高圧受電設備修繕、館内放送設備修繕、自動ドア修繕、消防用設備保守、トイレ排水修繕、通信用回線不備修繕、空調設備保守交換	A		
備品管理	適切に管理している。	A		
(5)個人情報保護規定等の遵守状況に関する事項				
受託者の義務	社内規定により作成した「個人情報保護チェックリスト」に基づき、適正に指揮監督を行っている。	A	条例、マニュアル、チェックリスト等に基づき、個人情報が遵守された。	A
個人情報等秘密の保持	条例に基づいて、適正に業務が執行されている。	A		
適正な管理	年1回社内監査も実施されるなど、適正な管理に努めている。	A		
再委託の禁止	第三者に再委託している状況はない。	A		
研修・教育の実施	入社時等の研修のほか、関連研修が館内でも頻繁に実施された。	A		
個人情報に関する取り扱いについて	マニュアルに加え、市に準じて、情報セキュリティ手順書を整備し、確実に運用されている。	A		

評価の視点及び項目	施設担当課評価		2次評価	
	コメント(事務局で簡略化して編集)	1次評価	評価理由等	2次評価
(6)安全管理(苦情・事件・事故対応)に関する事項				
事故・苦情対応状況	特になし	A	特に大きな事故や苦情はなかった。 「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A
事故の予兆に対する対応	特になし			
具体的にヒヤリ・ハットした状況	特になし			
事故防止対策の取り組み状況	「TRC危機管理マニュアル」を通じて、事故防止対策に取り組んでいる。	A		
(7)地域貢献に関する事項				
地域及び地域住民との連携	利用者懇談会を開き、意見把握に努めた。多彩な行事を開催し、地域住民とのつながりを持った。併設の若葉会館や児童館と連携し、行事への参加や周知に努めた。	A	近隣施設との連携は進んでいる。今後は自治会等との情報交換も進められたい。	A
(8)コンプライアンスに関する事項				
法令遵守及び社会規範・モラル等の遵守	問題となる項目無し。	A	特に問題なし。	A
(9)その他特記事項・追加評価項目				
	特になし。			—
(10)立川市のコスト削減状況				
導入前の決算額との比較	9,527千円の増額。	A	5館の統括的な業務を行うための人件費が含まれるため、削減額は生じていない。	A
施設担当課評価		2次評価		2次評価
コメント(事務局で簡略化して編集)		1次評価	評価理由等	
◆ 総合評価				
<p>利用者数は、対前年度比で13.3%の増であり、事業計画書において目標としていた「対前年度比10%以上の増加」を達成することができた。しかし、図書館システム更新による長期休館や2月の大雪による影響がなければさらに利用者が増え、17%程度の増加があったと想定できることから、評価できる実績であると考えている。</p> <p>指定管理館5館の中心館として、調べ学習支援・学校図書館のサポート事務局として、「調べ学習おたすけ隊」のプログラムを作成したり、学校配達便のとりまとめを行ったりしたほか、独自ホームページや図書館だよりについても中心になって編集作業を進めるなど、5館が円滑に管理運営されるために、様々な業務に取り組んだ。</p> <p>若葉図書館についても、児童書ミニ展示コーナーや子育て支援コーナーなどの新たなコーナーを設置したほか、案内板や見出し板なども多数作成し、利用者目線に立った改善を進めるとともに、講座・講演会など多彩な行事も実施し、利用者の拡大に努めた。</p> <p>こうした取組を支えるスタッフの教育・研修については、会社として充実した研修制度を構築しており、25年度も本社研修や館内研修が頻繁に実施され、多くのスタッフが参加してスキルアップに努めた。特に、個人情報保護については再三にわたって研修が実施されたほか、例年と同じく社内監査も行われ、セキュリティ確保の徹底が図られた。</p> <p>接客対応に関するアンケート結果については、5館の中では低い評価であったが、他の調査項目との比較では評価が高く、個別意見でも「対応が良くなった」という声は多かった。</p>		A	<p>指定管理開始初年度。サービス向上に向けて意欲的に取り組み、前年度と比べて大幅な利用者増を実現した。</p> <p>5館の統括的な役割を担い、様々な業務に先導的に取り組んだ。</p> <p>提案事項は着実に実施し、成果を得ている。</p> <p>以上から、評価基準に照らしA評価とする。</p>	A